

9 教育費

1 教育総務費 2 事務局費

[担当：学務給食課] P. 330

2201 通学送迎に要する経費 840,000 円 (787,500 円)

[国・県 349,000 円 一財 491,000 円]

* 特財内訳

[国補：へき地児童生徒援助費等補助金 349,000 円]

○ 目的

旧高須小学校が桜が丘小学校に統合されたことに伴い、遠距離通学となる大留第1地区（小貝川左岸）の児童の安全な通学手段を確保する。

○ 内容

登下校時に、桜が丘小学校と対象児童の自宅の間をタクシーで送迎した。

対象者 大留第1地区の児童 4年生：1人 2年生：1人

○ 効果

対象児童に対して、登下校時の安全な通学手段が確保できた。

[担当：学務給食課] P. 330

2301 教育情報機器整備に要する経費 57,771,750 円 (新規)

[国・県 54,669,000 円 一財 3,102,750 円]

* 特財内訳

[国補：地域活性化・経済対策臨時交付金 27,300,000 円]

[国補：学校情報通信技術環境整備事業費補助金 27,369,000 円]

○ 目的

高度情報化社会に対応した校務処理を行うために、新たに教育情報ネットワークを構築し、教育委員会と小中学校の事務の効率化を図る。

○ 内容

小中学校全校の校務事務の情報を教育委員会と学校が共有する事で、教職員の事務の効率化と個人情報の保護を図る。

主な事業費内訳

・教職員情報ネットワーク使用料	2,976,750 円
・教職員校務用パソコン購入費	54,600,000 円

○ 効果

教育委員会と学校が情報を共有する事で、事務の効率化と個人情報の保護が図れた。

1 教育総務費 3 育英事業費

[担当：教育総務課] P. 332

2001 奨学生給付金 1,494,900 円 (1,607,800 円)

[その他 52,813 円 一財 1,442,087 円]

* 特財内訳

[財産収入：奨学基金利子 52,813 円]

○ 目的

経済的に修学が困難な高校生の保護者に奨学資金を給付し、有為な人材を育成する。

○ 内容

給付額 月額 9,900 円

平成 21 年度の新規採用者 6 名

奨学生	21 年度	20 年度	19 年度
新規	6 名	4 名	4 名
継続	6 名	10 名	7 名
合計	12 名	14 名	11 名

○ 効果

経済的負担の軽減を行い、有為な人材の育成に寄与することができた。

[担当：教育総務課] P. 332

2101 奨学生貸付金 5,520,000 円 (5,400,000 円)

[その他 5,520,000 円]

* 特財内訳

[諸収入：奨学金貸付金元利収入 7,954,800 円(償還者数：37 名)のうち 5,520,000 円]

○ 目的

経済的に修学が困難な大学生・短大生に奨学金を貸し付け、有為な人材を育成する。

○ 内容

貸付額 国公立大 月額 30,000 円 私立大 月額 40,000 円

平成 21 年度の新規採用者 3 名

奨学生	21 年度	20 年度	19 年度
新規	3 名	3 名	3 名
継続	9 名	9 名	11 名
合計	12 名	12 名	14 名

種別	21 年度	20 年度	19 年度
国公立大学	2 名	3 名	3 名
私立大学	10 名	9 名	11 名
合計	12 名	12 名	14 名

○ 効果

経済的負担の軽減を行い、有為な人材の育成に寄与することができた。

1 教育総務費 4 教育研究指導費

[担当：指導課] P. 334

0501 教育振興に要する経費 70,009,957 円 (77,087,115 円)

[国・県 50,000 円 一財 69,959,957 円]

* 特財内訳

[県委：学校体育研究推進校事業委託金 50,000 円]

○ 目的

国際化、情報化、科学技術の飛躍的な発展の中で、変化の激しい社会に対応できる児童生徒の育成が必要である。基礎的・基本的な内容を確実に身につけさせ、自ら学び

自ら考える力など「生きる力」を育むことをねらいとして、教育の充実を図る。

○ 内容

- ・ 英語指導助手業務委託料 64,863,750 円
英語指導助手 14 人(中学校各校に 1 人配置、小学校は 3 校に 1 人配置)を民間専門業者に委託し、英語教育の充実に努めた。また、英語指導助手との交流により国際理解の推進を図った。
- ・ 社会科副読本「とりで」印刷製本 2,299,500 円
- ・ 学習ボランティア謝礼 213,000 円
- ・ 「心の授業」「心の先生」謝礼 243,000 円
- ・ その他(需用費・負担金等) 2,390,707 円

○ 効果

各小中学校児童生徒の英語教育、及び国際理解教育の充実が図られた。

[担当：指導課] P. 334

1001 特別支援教育に要する経費 1,504,864 円 (1,426,962 円)

[一財 1,504,864 円]

○ 目的

障害のある児童生徒を支援したり、保護者や教員からの相談に応じたり、さらには、取手市内の小中学校の特別支援教育の体制づくりを支えたりする。

○ 内容

(1) 特別支援教育相談員の配置

児童等の就学や適応に関する調査や教職員や保護者に対する相談活動を行う。

- ・ 相談件数

区 分	H21 年度(78 件)	H20 年度(68 件)
未就学児に関して	53 人	50 人
在学児童生徒に関して	10 人	16 人
教職員から	15 人	2 人

(2) 就学指導委員会の実施

障害のある幼児児童生徒の適切な就学のため、医師、特別支援学級担当者、県立伊奈養護学校教諭で構成する委員会で、就学先を協議、判定する。

- ・ 判定件数

区 分	H21 年度(76 件)	H20 年度(76 件)
新学齢児	33 人	30 人
在学児童生徒	43 人	46 人

(3) 特別支援教育支援体制整備事業の実施

地域における特別支援教育相談体制を充実するとともに、小中学校等における特別支援教育校内支援体制の整備と活用に関する支援を行う。

教職員や保護者向けの相談活動「ほのぼの相談会」や、教職員向けの研修会などを企画、運営している。

- ・ 「ほのぼの相談会」相談件数

区 分	H21 年度(12 件)	H20 年度(12 件)
保 護 者	6 人	1 人
教 職 員	6 人	11 人

・研修会への参加者

区 分	H21 年度	H20 年度
特別支援コーディネーター研修会	35 人	29 人
特別支援教育研修会	49 人	47 人

○ 効果

- ・障害のある幼児等を早期に発見することができるようになった。
- ・障害のある幼児児童生徒の適正な就学指導を進めるために、就学指導委員会で76件の判定を出すことができた。
- ・幼稚園・保育所と小学校との間での連携が充実し、支援の移行が適切に行われるようになった。
- ・市内小中学校の校内支援体制を充実させることができた。

[担当：指導課] P. 336

2301 適応指導事業に要する経費 25,498,284 円 (21,394,152 円)

[一財 25,498,284 円]

○ 目的

不登校児童生徒の適応力を高め、学校へ復帰する力を伸ばす指導が必要である。様々な要因で集団不適応の児童生徒に適切に対応するため、学校や関係諸機関との連携を図りながら児童生徒や保護者への指導を行う。

○ 内容

教育相談員と指導主事が、適応指導教室や学校において、教科の指導、集団活動、個別の相談業務等を行った。これらを通して児童生徒が自立し、コミュニケーション力をつけ、学校に適應できるよう継続的に支援した。併せて、保護者との面談も行った。

○ 効果

平成21年度は小中学生計13人の通室者のうち、13人全員が学校生活に復帰することができた。また、不登校児童生徒数も92人から86人に減少させることができた。

年 度	通室者数	復帰数	復帰率
H21	13 人	13 人	100%
H20	11 人	11 人	100%

[担当：指導課] P. 336

2901 問題を抱える子ども等の自立支援事業に要する経費 1,392,000 円

[国・県 1,392,000 円]

(2,550,000 円)

* 特財内訳

[県委：問題を抱える子ども等の自立支援事業委託金 1,392,000 円]

○ 目的

不登校解消のための訪問指導、適応指導教室相談員が隣接市と連携した行事の運営、学級満足度調査（中学1年生～年2回）を行うことで、不登校傾向の児童生徒の早期発見、早期対応をはじめ、調査等に基づいて学校生活をきめ細かく支援する。

○ 内容

- (1) 3市（取手市・守谷市・牛久市）適応指導教室間の連携を図り、学校復帰に向けた

プログラムを研究し、実践した。

(2) 学校と連携して不登校状態にある児童生徒の家庭訪問を行うことを通して、一人一人の児童生徒の支援に当たり、学校とのかかわりをもてるよう実践した。

(3) 年間 30 日以上欠席者が減少した。(小中学生合計)

平成 19 年度：90 名 → 平成 20 年度：92 名 → 平成 21 年度 86 名

○ 効果

適応指導教室の隣接自治体間交流を通して児童生徒が集団活動によるコミュニケーションを深めることができた。また学校と連携した訪問指導により本人や保護者とのかかわりを増やすことができた。また学級における集団生活満足度を調査し、児童生徒の自己理解の様子を知り、指導に生かすことができた。

[担当：指導課] P. 338

3001 学校評価の充実・改善のための実践研究に要する経費 3,854,452 円

[国・県 3,732,652 円 一財 121,800 円] (6,487,753 円)

* 特財内訳

[県委：学校評価の充実・改善のための実践研究事業委託金 3,732,652 円]

○ 目的

学校が自らの教育活動その他の学校運営の状況について評価を行い、その結果に基づき学校及び設置者等が学校運営の改善を図ることが求められている。本市では特に、関係者が評価の必要性や目的といった情報を共有する方法や関係者評価委員会へ日常的に情報を提供する方法、報告資料作成の事務作業量の軽減、学校広報の在り方などについて実践研究を行った。

○ 内容

・実施校

市立全小中学校

・運営委員会の設置

大学教授を含む運営委員会を組織し、学校評価についての理論研修及び具体的な学校評価の充実・改善のための支援を行った。

・報告資料作成支援テンプレートの修正

平成 20 年度に作成した報告資料作成に活用できるテンプレートを修正し、各校における事務作業量の更なる軽減を図った。

・学校評価研究 ICT スタッフの配置

学校評価研究に携わる ICT スタッフを配置した。「報告資料作成支援テンプレート」の修正や「アンケートの作成・集計ソフトウェアの活用支援」を行った。

・学校広報の在り方についての研究

学校便りや WEB ページを有効に活用し、学校の諸活動を積極的に PR するための理論や方法について大学教授の指導のもと研修を実施した。

○ 効果

各校が学校評価を実施するにあたり、重点化された具体的な目標設定の在り方、評価項目や評価指標の設定の在り方等についての検討、テンプレートの修正等を行った。市内全 26 校が共通認識に立って学校関係者評価を実施することができた。

[担当：指導課] P. 338

3101 理科支援員等配置に要する経費 1,081,633 円 (906,000 円)

[国・県 1,081,633 円]

* 特財内訳

[県委：理科支援員等配置事業委託金 1,081,633 円]

○ 目的

全小学校において、理科の授業での観察・実験活動等における教員の支援や、先端技術に関する実験等の演示・体験活動を行う人材を派遣することにより、小学校理科教育の一層の活性化及び充実を図るとともに、小学校教員の理科指導力の向上を図る。

○ 内容

(1) 理科支援員の配置

配置校及び対象：桜が丘小学校、取手小学校、稲小学校

小学校 5、6 年の 12 学級

内容：観察・実験活動等の準備、実験支援、後片付け、教材開発、観察・実験、理科室環境の整備、活動等技能向上支援等

(2) 理科特別講師の派遣

対象：理科支援員を配置していない小学校

(白山小、小文間小、寺原小、白山西小、吉田小、六郷小、久賀小)

内容：先端科学技術に関する知識やものづくり技術の伝授、実験等

(4 人の製薬研究者を招聘)

○ 効果

理科支援員による授業支援は、教師が児童に直接向き合う時間を増加させるとともに、小学校理科教育の一層の活性化及び充実を図ることに有効であった。また、理科特別講師による授業は、児童の理科に対する興味関心を高めるだけでなく、夢を持つことの大切さ等、キャリア教育の視点からも効果があった。

[担当：指導課] P. 340

4201 日本語指導員に要する経費 1,644,838 円 (2,854,450 円)

[一財 1,644,838 円]

○ 目的

日本語指導を必要とする帰国児童生徒及び外国人児童生徒への日本語の指導を行い、学校生活を支援する。

○ 内容

(1) 学校での日本語指導への協力

(2) 教科書・指導資料等の翻訳

(3) 学校での保護者との通訳等

配置指導員数 5 人 (中国語 1 人、ポルトガル語 2 人、スペイン語 1 人、英語 1 人)

○ 効果

日本の学校への円滑な受け入れが可能となり、学校生活の不安を解消できた。

[担当：指導課] P. 340

4501 学力向上推進事業に要する経費 5,315,934円(2,317,246円)

[一財 5,315,934円]

○ 目的

児童生徒に基礎的・基本的な内容の定着を図り、確かな学力を育成する。また、指導体制や指導方法等の研修を深め、教員の資質向上を図る。

○ 内容

6月～2月 授業研究会(国語・算数数学14回)(小学校外国語活動2回)

4月～3月 ICT活用支援事業(授業支援43回 研修支援10回 校務支援24回)

7月24日 小学校外国語活動研修会

8月6日～7日 理科授業力向上研修会

2月10日 国語授業力向上研修会(講演会)

7月～8月 夏休み算数スクール(市内全小学校に学習支援員各1人を5日間配置)

○ 効果

研修会や講演会、ICT活用支援事業を通して教職員の資質向上を図ってきた。特に国語科・理科・小学校外国語活動においては、研修内容が即授業実践につながるなど、実効性の高い研修となった。また、ICT活用支援事業においても、教職員のICT活用回数が増加するなど、事業の成果向上がみられた。さらに、夏休みの補習授業を実施したことで、児童の学ぶ意欲が向上し、確かな学力の育成につながった。

1 教育総務費 5 青少年育成費

[担当：スポーツ生涯学習課] P. 340

1001 青少年健全育成に要する経費 10,999,968円(11,086,284円)

[国・県 29,000円 一財 10,970,968円]

* 特財内訳

[県補：青少年相談員店舗訪問業務補助金 29,000円]

○ 目的

青少年センターを中心とした特別青少年相談員、青少年相談員の相談活動及び街頭指導等により、青少年の健全育成を図るとともに、青少年育成団体に助成を行い、青少年の非行を防止し、青少年が安心して生活できる街づくりを目指す。

○ 内容

・報酬 青少年相談員報酬 6,260,400円(月額 9,400円 56人)

特別青少年相談員報酬 2,712,000円(月額 113,000円 2人)

・負担金、補助及び交付金 10団体 1,433,300円

○ 効果

この事業を通して青少年健全育成の意識の高揚が図られ、青少年の心身の健全なる育成を推進することができた。

[担当：スポーツ生涯学習課] P. 342

1101 青少年問題協議会に要する経費 118,060円(131,694円)

[一財 118,060円]

○ 目的

青少年関係機関等の委員で構成される青少年問題協議会を開催し、関係機関の連絡調整を図るとともに、青少年の健全育成に関する総合的施策について調査・審議する。

また、善行青少年の表彰を実施し、市内の隅々に善行行為を広める。

○ 内容

- ・青少年問題協議会委員報酬 44,100 円
- ・善行青少年表彰記念品 57,960 円

○ 効果

青少年問題協議会を開催することにより、関係行政機関（警察、小中高校等）相互の連絡調整を図ることができた。

また、善行青少年の表彰を行い、善行行為を広めることができた。

2 小学校費 1 学校管理費

[担当：学務給食課] P. 344

2001 小学校管理に要する経費 194,646,564 円 (213,527,043 円)

[国・県 10,284,111 円 その他 35,336 円 一財 184,327,117 円]

* 特財内訳

[国補：地域活性化・経済対策臨時交付金 1,879,000 円]

[国補：学校情報通信技術環境整備事業費補助金 1,879,487 円]

[県補：TT 特別配置事業費補助金 6,525,624 円]

[諸収入：取手小太陽光発電による売電料 35,336 円]

○ 目的

教育環境の更なる充実を図ることで、児童の学習意欲を向上させ、「確かな学力」へと繋げる。

○ 内容

- ・市内小学校 18 校に、各校 1 台ずつ地上デジタルテレビの整備を行った。
(3,759,000 円)
- ・TT 特別配置事業により、県からの TT 加配がっていない小学校 8 校（小文間小、井野小、吉田小、稲小、高井小、山王小、六郷小、藤代小）に TT 非常勤講師を配置し、課題別学習など多様な学習を展開し、個に応じたきめ細かな指導を行った。
(12,515,161 円)
- ・教育補助員を 13 校（取手小、白山小、小文間小、寺原小、永山小、井野小、戸頭西小、戸頭東小、六郷小、藤代小、宮和田小、久賀小、桜が丘小）に配置し、障害のある児童の教育支援を行った。(29,688,837 円)

○ 効果

- ・TT 非常勤講師の配置により個人差に応じた対応ができ、基本的な学力の定着が図れた。
- ・教育補助員を配置することで、障害のある児童の教育支援ができた。

[担当：教育総務課] P. 346

2101 小学校施設管理に要する経費 42,272,230円 (41,981,212円)

[一財 42,272,230円]

○ 目的

適切な維持管理により、小学校施設を良好な状態に保つ。

○ 内容

(1) 需用費

項 目	内 容	金 額
修繕料	各小学校の施設修繕料	8,055,390円
	各小学校の施設修繕料 (学校配当分)	6,443,536円

(2) 委託料

委 託 名	内 容	委託料
学校警備委託	各小学校の機械警備	5,346,936円
浄化槽維持管理及び 清掃委託	浄化槽の維持管理及び清掃 (小文間小、永山小、 高井小、山王小、六郷小、宮和田小)	2,335,200円
消防設備保守点検委託	各小学校の消防設備の保守点検	2,948,400円
排水管清掃委託	各小学校の排水管の清掃	294,000円
電気管理技術者代行委託	各小学校の電気設備の安全管理	2,612,610円
プールろ過装置 保守点検委託	各小学校のプールろ過装置の保守点検	653,100円
高架水槽及び受水槽 清掃委託	各小学校の高架水槽、受水槽の清掃	1,155,000円
草刈り清掃委託	小学校隣接地の除草 (取手小、白山小)	1,606,500円
給水管漏水調査委託	漏水調査 (白山西小)	156,450円
樹木消毒委託	各小学校の樹木の消毒	1,638,000円
樹木剪定委託	各小学校の樹木の剪定	1,691,550円
空調設備保守点検委託	空調設備の保守点検 (寺原小、永山小、白山西 小、稲小、高井小、小文間小、戸頭東小、戸頭 西小、白山小、井野小、吉田小)	781,200円
テレビ共同受信設備 保守点検委託	テレビ共同受信設備の保守点検 (取手小)	1,816,500円
エレベーター保守点検委託	エレベーターの保守点検 (取手小、寺原小)	1,181,250円
自動ドア保守点検委託	自動ドアの保守点検 (取手小)	189,000円
太陽熱温水設備 保守点検委託	太陽熱温水設備の保守点検 (取手小)	189,000円
校庭散水設備保守点検委託	校庭散水設備の保守点検 (取手小、寺原小)	69,300円
遠赤外線暖房機保守点検委 託	遠赤外線暖房機の保守点検 (取手小)	273,000円

(3) 使用料及び賃借料、原材料費

項 目	内 容	金 額
使用料及び賃借料	電柱共架料	123,480円
原材料費	各小学校施設補修用材料の購入	36,750円
	各小学校施設補修用材料の購入 (学校配当分)	346,380円

○ 効果

適切な維持管理により、小学校施設を良好な状態に保つことができた。

[担当：学務給食課] P. 348

2201 小学校保健衛生に要する経費 31,723,513 円 (32,180,574 円)

[その他 2,244,340 円 一財 29,479,173 円]

* 特財内訳

[負担金：日本スポーツ振興センター災害給付負担金 @460×4,879 人=2,244,340 円]

○ 目的

学校保健法に基づき、児童及び教職員の定期健康診断を実施することにより健康保持を図る。

○ 内容

- ・学校嘱託医、歯科医、薬剤師（産業医） 70 人(18 人)
- ・児童、教職員健康診断委託 委託先：(社)取手市医師会

区分	尿	蛭虫	貧血	心臓	胃	結核・肺ガン	小児生活習慣病	生化学検査
対象	全学年職員	1・2・3年	4年職員	1年職員	40歳以上職員	職員	4年	職員
H21	5,279	2,454人	781人	895人	13人	203人	724人	57人
H20	5,430	2,524人	2,047人	975人	18人	137人	734人	110人

※貧血・・・平成20年度は2・4・6年を対象

○ 効果

定期検診を実施することにより、児童に対する健康管理や指導が徹底され健康保持が図れた。

2 小学校費 2 教育振興費

[担当：学務給食課] P. 350

2001 小学校教育振興に要する経費 13,602,340 円 (14,812,612 円)

[一財 13,602,340 円]

○ 目的

学校行事等の経費及び教材教具の充実と維持管理を図る。

○ 内容

主に教育教材の維持管理に要する経費である。

教材用消耗品 (18校) 12,074,200 円

○ 効果

学校行事等の経費や教材教具を整えたことにより、より良い学習効果が得られた。

[担当：学務給食課] P. 350

2101 小学校教育設備及び教材費に要する経費 29,792,785 円 (29,200,439 円)

[一財 29,792,785 円]

○ 目的

教材台帳の整備基準に基づき、教育設備及び教材を整備し、良好な学習環境を保つ。

○ 内容

(単位：円)

区分	児童用教材	特別支援 学級教材	理科教材	図 書	合 計
H21	16,641,501	791,015	2,354,695	8,138,960	27,926,171
H20	16,654,423	299,985	1,875,969	8,433,704	27,264,081

○ 効果

各教科の指導を進めるうえで不可欠な教材教具及び図書、理科備品を整備することで、良好な教育環境を保つことができた。また、新学習指導要領に対応した設備の整備に向けて、理科教育等設備の整備を図った。

[担当：学務給食課] P. 350

2201 小学校コンピュータ整備に要する経費 41,357,720円 (39,514,849円)

[一財 41,357,720円]

○ 目的

高度情報化社会に対応した学習活動を行うために、インターネット回線を利用した教育環境の充実を図る。

○ 内容

主に小学校18校のパソコン使用料（各校21台）に要する経費である。

主な事業費内訳

・パソコン使用料	34,548,171円
・ネットワーク配信コンテンツ機器使用料	680,400円
・ネットワーク配信コンテンツソフト使用料	1,716,241円
・学校ポータル運用管理業務委託	2,718,000円

○ 効果

小学校18校において、パソコン教材を活用した学習により、より一層の教育の充実が図れた。

[担当：学務給食課] P. 350

2301 要保護・準要保護児童就学奨励費 26,916,103円 (25,884,915円)

[国・県 773,000円 一財 26,143,103円]

* 特財内訳

[国補：要保護児童就学奨励費補助金 36,937×約1/2=19,000円]

[国補：特別支援教育就学奨励費補助金 2,066,842×1/2以内≒754,000円]

○ 目的

学校教育法に基づき、経済的理由により就学困難な小学校児童の保護者に対し、教育費の援助を行うことで、教育環境の向上に寄与する。

○ 内容

給食費、学用品費、新入学用品費、校外活動費、修学旅行費、医療費を援助した。

・要保護及び準要保護児童就学援助者数

区 分	要保護数	準要保護数	合 計
H21	15 人	374 人	389 人
H20	17 人	369 人	386 人

・特別支援教育就学奨励者数

区 分	在籍者数	該当者数
H21	104 人	65 人
H20	82 人	51 人

○ 効果

保護者に対し経済的援助を行うことにより、教育環境の向上に寄与することができた。

[担当：指導課] P. 352

2901 小学校特別活動助成に要する経費 1,466,900 円 (2,199,334 円)

[一財 1,466,900 円]

○ 目的

諸発表・体育大会等を通して児童の活動への意欲を高める。

○ 内容

陸上記録会補助金 1,230,000 円
 その他（賞状印刷代） 236,900 円

○ 効果

平成 21 年度は、インフルエンザの流行により市音楽会は中止になったが、諸発表、体育大会等への参加により、児童のスポーツ等への関心意欲が高まり、活動意欲の向上が図られた。

2 小学校費 3 学校建設費

[担当：教育総務課] P. 352

2101 小学校施設整備に要する経費 35,420,862 円 (75,010,333 円)

〈8,169,000 円〉 ※ 〈 〉 は、うち 20 年度繰越分

[国・県 15,000,000 円 〈8,000,000 円〉 地方債 4,200,000 円 一財 16,220,862 円]

* 特財内訳

[国補：地域活性化・経済危機対策臨時交付金 7,000,000 円]

[国補：地域活性化・生活対策臨時交付金 8,000,000 円]

[市債：小学校整備事業債 5,612,250 × 75% ≒ 4,200,000 円]

○ 目的

各小学校の施設を整備し、教育環境の充実を図る。

○ 内容

(1) 委託料

委 託 名	内 容	工 期	委託料
稲小高架水槽改修工事 実施設計業務委託	高架水槽老朽化に伴う工事実施設計 業務	H21. 6. 3 ~ H21. 8. 31	204,750 円

(2) 工事請負費

工 事 名	内 容	工 期	工事費
稲小高架水槽改修工事	稲小高架水槽改修工事 FRP製水槽を鋼板製水槽に改修する 工事	H21. 9. 29 ~ H22. 3. 15	5, 407, 500円
取手小電波障害対策施設改修工事	取手小電波障害対策施設改修工事 アナログTVからデジタルTV切り替え のため混合器、分配器、増幅器の改修 工事	H21. 9. 14 ~ H22. 2. 26	7, 875, 000円
戸頭東小・稲小・藤代 小防火シャッター安全 装置設置工事 (繰越明許費)	防火シャッター安全装置の設置工事 戸頭東小12箇所・稲小6箇所 藤代小9箇所	H21. 5. 2 ~ H21. 6. 30	〈6, 279, 000円〉
六郷小・宮和田小・高 井小防火シャッター安 全装置設置工事 (繰越明許費)	防火シャッター安全装置の設置工事 六郷小4箇所・宮和田小2箇所 高井小1箇所	H21. 8. 8 ~ H21. 9. 18	〈1, 890, 000円〉
施設管理営繕工事	各小学校の営繕工事		13, 315, 680円

○ 効果

各小学校施設の整備を行い、安全かつ快適な教育環境を提供することができた。

[担当：公共施設整備課・教育総務課 → H22 教育総務課] P. 354

2201 小学校建設事業に要する経費 16, 674, 000 円 (479, 273, 700 円)

〈4, 872, 000 円〉※ 〈 〉 は、うち 20 年度繰越分

[国・県 11, 410, 000 円 一財 5, 264, 000 円]

* 特財内訳

[県補：合併特例交付金 11, 410, 000 円]

○ 目的

校舎及び体育館の耐震補強工事实施設計を行い、耐震性の確保と建物の改修により教育環境の充実を図る。

○ 内容

(1) 委託料

委 託 名	内 容	工 期	委託料
山王小校舎耐震補強工事 実施設計業務委託	耐震補強工事の実施設計業務	H21. 6. 9 ~ H22. 2. 26	1, 774, 500 円
戸頭東小校舎耐震補強工 事実施設計業務委託	耐震補強工事の実施設計業務	H21. 6. 9 ~ H22. 2. 26	4, 399, 500 円
吉田小校舎耐震補強工事 実施設計業務委託	耐震補強工事の実施設計業務	H21. 6. 9 ~ H22. 2. 26	5, 250, 000 円
永山小校舎・体育館改築工 事に伴うテレビ電波障害 事前調査業務委託	テレビ電波障害事前調査業務	H22. 1. 20 ~ H22. 3. 15	378, 000 円

久賀小学校体育館耐震補強工事実施設計業務委託 (繰越明許費)	耐震補強工事の実実施設計業務	H20.11.8 ~ H22.5.29	〈2,698,500円〉
白山西小学校体育館耐震補強工事実施設計業務委託 (繰越明許費)	耐震補強工事の実実施設計業務	H20.11.8 ~ H22.5.29	〈2,173,500円〉

○ 効果

校舎及び体育館の耐震補強工事実施設計により、安全・安心な学校づくりのための準備が整った。耐震補強工事に向けての教育環境の整備が図られる。

2 小学校費 4 学校給食費

[担当：学務給食課] P.356

2001 給食運営に要する経費 305,180,241円 (310,083,392円)

[その他 189,105,027円 一財 116,075,214円]

* 特財内訳

[諸収入：小学校給食代(自校分) 189,105,027円]

○ 目的

学校給食の安全と円滑な運営を図る。

○ 内容

(1) 臨時栄養士等賃金 7,452,760円 (5人)

(2) 委託料

項 目	内 容	金 額
小荷物専用昇降機保守点検委託料	給食用エレベータ保守点検(14校)	1,402,170円
換気設備清掃委託料	給食室用換気設備の清掃(12校)	1,764,000円
給食排水槽清掃委託	給食室用排水槽の清掃(12校)	1,723,612円
給食室病虫害防除委託料	給食室の病虫害の防除(18校)	499,800円
学校給食調理業務民間委託料	調理業務を民間の専門業者へ委託した。(8校：取手小、寺原小、永山小、井野小、白山西小、戸頭東小、戸頭西小、吉田小)	87,767,603円

○ 効果

栄養バランスのとれた内容豊かな給食の提供及び、給食環境の整備、環境衛生面での充実が図れた。

[担当：学務給食課] P.356

2101 給食施設整備に要する経費 4,224,870円 (5,957,847円)

[一財 4,224,870円]

○ 目的

給食室内の衛生管理を徹底強化するために施設の充実を図る。

○ 内容

備品整備	・ガス回転釜の内釜交換修理(永山小)	169,050円
	・牛乳保冷库購入(宮和田小)	609,000円
	・冷凍庫コンプレッサー修繕(小文間)	172,851円

施設整備

- ・給食室小荷物専用昇降機インバーター制御改修（藤代小） 1,123,500円
- ・換気扇グリスフィルター交換修繕（戸頭小） 80,240円

○ 効果

給食室内の施設整備及び環境衛生面での充実が図れた。

3 中学校費 1 学校管理費

[担当：学務給食課] P.358

2001 中学校管理に要する経費 76,554,600円（83,062,683円）

[一財 76,554,600円]

○ 目的

教育環境の更なる充実を図ることで、生徒の学習意欲を向上させ、「確かな学力」へ繋げる。

○ 内容

- ・教育補助員を3校（戸頭中、取手東中、藤代南中）に配置し、障害のある生徒の教育支援を行った。（2,914,640円）
- ・TT 特別配置事業により、県からのTT 加配がついていない野々井中学校にTT 非常勤講師を配置し、課題別学習など多様な学習を展開し、個に応じたきめ細かな指導を行った。（1,486,850円）

○ 効果

- ・教育補助員を配置することで、障害のある生徒の教育支援ができた。
- ・TT 非常勤講師の配置により個人差に応じた対応ができ、基本的な学力の定着が図れた。

[担当：教育総務課] P.360

2101 中学校施設管理に要する経費 21,000,948円（20,445,581円）

[一財 21,000,948円]

○ 目的

適切な維持管理により、中学校施設を良好な状態に保つ。

○ 内容

(1) 需用費

項目	内容	金額
修繕料	各中学校の施設修繕料	6,054,572円
	各中学校の施設修繕料（学校配当分）	2,864,768円

(2) 委託料

委託名	内容	金額
学校警備委託	各中学校の機械警備	2,438,100円
浄化槽維持管理及び清掃委託	浄化槽の維持管理及び清掃（永山中、野々井中、藤代中、藤代南中）	1,449,000円
消防設備保守点検委託	各中学校の消防設備の保守点検	1,344,000円
排水管清掃委託	各中学校の排水管清掃	231,000円
電気管理技術者代行委託	各中学校の電気設備の安全管理	1,102,500円
エレベーター保守点検委託	エレベーター保守点検（取手二中、藤代中）	1,151,640円

プールろ過装置保守点検委託	各中学校のプールろ過装置の保守点検	287,700円
高架水槽及び受水槽清掃委託	各中学校の高架水槽、受水槽の清掃	577,500円
給水管漏水調査委託	漏水調査（藤代中）	156,450円
樹木消毒委託	各中学校の樹木の消毒	714,000円
樹木剪定委託	各中学校の樹木の剪定	721,350円
空調設備保守点検委託	空調設備の保守点検（取手一中、取手二中、戸頭中、永山中、取手東中、野々井中）	371,700円

(3) 原材料費

項 目	内 容	金 額
原材料費	各中学校施設補修用材料の購入	112,350円
	各中学校施設補修用材料の購入（学校配当分）	157,793円

○ 効果

適切な維持管理により、中学校施設を良好な状態に保つことができた。

[担当：学務給食課] P.362

2201 中学校保健衛生に要する経費 16,675,670円（15,695,379円）

[その他 1,064,900円 一財 15,610,770円]

* 特財内訳

[負担金：日本スポーツ振興センター災害給付負担金 @460×2,315人=1,064,900円]

○ 目的

学校保健法に基づき、生徒及び教職員の定期健康診断を実施することにより健康保持を図る。

○ 内容

- ・学校嘱託医・歯科医・薬剤師（産業医） 34人（8人）
- ・生徒、教職員健康診断委託 委託先：（社）取手市医師会

区分	尿	貧血	心臓	胃	結核	小児生活習慣病	生化学検査
対象	全学年 職員	2年 職員	1年 職員	40歳以上 職員	生徒 職員	2年	職員
H21	2,569人	735人	944人	12人	5人	682人	53人
H20	2,666人	715人	1,131人	19人	1人	622人	94人

○ 効果

定期検診を実施することにより、生徒に対する健康管理や指導が徹底され健康保持が図れた。

3 中学校費 2 教育振興費

[担当：学務給食課] P.364

2001 中学校教育振興に要する経費 8,057,227円（9,172,350円）

[一財 8,057,227円]

○ 目的

学校行事等の経費及び教材教具の充実と維持管理を図る。

○ 内容

主に教育教材の維持管理に要する経費である。

教材用消耗品（8校） 7,689,817円

○ 効果

学校行事等の経費や教材教具を整えたことにより、より良い学習環境が得られた。

[担当：学務給食課] P. 364

2101 中学校教育設備及び教材費に要する経費 19,877,275 円 (20,014,611 円)

[一財 19,877,275 円]

○ 目的

教材台帳の整備基準に基づき、教育設備の良好な環境を図る。

○ 内容

(単位：円)

区分	生徒用教材	理科教材	図 書	特別支援 学級教材	合 計
H21	8,349,127	1,980,809	6,660,156	377,790	17,367,882
H20	8,523,567	1,736,789	6,924,240	295,650	17,480,246

○ 効果

各教科の指導を進めるうえで不可欠な教材教具及び図書、理科備品を整備することで、良好な教育環境を保つことができた。また、新学習指導要領に対応した設備の整備に向けて、理科教育等設備の整備を図った。

[担当：学務給食課] P. 364

2201 中学校コンピュータ整備に要する経費 30,401,836 円 (30,117,575 円)

[一財 30,401,836 円]

○ 目的

高度情報化社会に対応した学習活動を行うために、インターネット回線を利用した教育環境の充実を図る。

○ 内容

主な経費

・ パソコン使用料	27,425,160 円
・ ネットワーク配信コンテンツ機器使用料	302,400 円
・ ネットワーク配信コンテンツソフト使用料	757,573 円
・ 学校ポータル運用管理業務委託	1,209,000 円

○ 効果

中学校 8 校において、パソコン教材を活用した学習により、より一層の教育の充実が図れた。

[担当：学務給食課] P. 364

2301 要保護・準要保護生徒就学奨励費 27,801,325 円 (25,397,135 円)

[国・県 420,000 円 一財 27,381,325 円]

* 特財内訳

[国補：要保護生徒就学奨励費補助金 391,069×約 1/2=195,000 円]

[国補：特別支援教育就学奨励費補助金 621,143×1/2 以内=225,000 円]

○ 目的

学校教育法に基づき、経済的理由により就学困難な中学校生徒の保護者に対して、

教育費の援助を行うことで、教育環境の向上に寄与する。

○ 内容

給食費、学用品費、新入学用品費、校外活動費、修学旅行費、医療費を援助した。

・要保護及び準要保護生徒就学援助者数

区 分	要保護数	準要保護数	合 計
H21	25 人	262 人	287 人
H20	25 人	237 人	262 人

・特殊教育就学奨励者数

区 分	在籍者数	該当者数
H21	28 人	13 人
H20	21 人	8 人

○ 効果

対象の保護者に対し経済的援助を行うことにより、教育環境の向上に寄与することができた。

[担当：指導課] P. 366

2901 中学校特別活動助成に要する経費 12,811,680 円 (11,642,565 円)

[一財 12,811,680 円]

○ 目的

諸発表・体育大会等（県南大会・県大会・関東大会・全国大会）を通して生徒の活動意欲を高める。

○ 内容

- ・音楽コンクール・諸発表大会生徒派遣費補助金 2,595,250 円
- ・体育大会等派遣補助金 9,858,660 円
- ・その他（自動車借上料、賞状印刷代） 357,770 円

○ 効果

平成 21 年度は、インフルエンザの流行により市音楽会は中止となったが、諸発表・音楽コンクール・体育大会等への参加により、生徒のスポーツや音楽への関心・意欲が高まり、活動意欲の向上が図れた。

[担当：指導課] P. 366

3001 運動部活動外部指導者活用事業に要する経費 165,200 円 (577,500 円)

[国・県 55,000 円 一財 110,200 円]

* 特財内訳

[県補：運動部活動指導者活用事業費補助金 165,200 円×1/3≒55,000 円]

○ 目的

運動部活動において、外部から専門的技術指導者を招き、より充実した部活動を行い、たくましい心と体を持った生徒を育成する。

○ 内容

運動部活動における外部指導者の活用

- ・1 運動部につき、年間 27 回の活用
- ・1 回の指導時間は 2 時間程度

- ・年間を通じて継続的に実施

学 校 名	部活動名 (外部指導員人数)
取手一中	柔道(1人)
野々井中	野球(1人)

○ 効果

2校2人の外部指導者を活用したことにより、運動部活動の運営がより活性化し、生徒の技術の向上および心身の育成に大きな成果があった。

3 中学校費 3 学校建設費

[担当：教育総務課] P.366

2001 中学校施設整備に要する経費 29,208,868円 (14,465,137円)

〈16,800,000円〉※〈 〉は、うち20年度繰越分

[国・県 18,940,000円 〈16,000,000円〉 一財 10,268,868円]

* 特財内訳

[国補：地域活性化・生活対策臨時交付金 16,000,000円]

[県補：合併特例交付金 2,940,000円]

○ 目的

各中学校の施設を整備し、教育環境の充実を図る。

○ 内容

(1) 委託料

委 託 名	内 容	工 期	委託料
永山中敷地測量 業務委託	永山中敷地の境界確認、境界表示 物設置及び測量業務	H21.5.6 ~ H21.12.15	2,940,000円

(2) 工事請負費

工 事 名	内 容	工 期	工事費
永山中校舎屋根改修 工事 (繰越明許費)	永山中校舎屋根防水劣化による屋 根改修工事 露出アスファルト防水を撤去し改 質アスファルト防水に改修	H21.6.10~ H21.8.31	〈16,800,000円〉
施設管理営繕工事	各中学校の営繕工事		9,201,990円

○ 効果

各中学校施設の整備を行い、安全かつ快適な教育環境を提供することができた。

[担当：公共施設整備課・教育総務課 → H22 教育総務課] P.366

2101 中学校建設事業に要する経費 210,210,000円 (0円)

〈7,749,000円〉※〈 〉は、うち20年度繰越分

[国・県 202,333,000円 一財 7,877,000円]

* 特財内訳

[国補：安全・安心な学校づくり交付金

永山中学校

(特)地震補強

$133,972,000 \times 2/3 + 133,972,000 \times 2/3 \times 1\% \approx 90,208,000$ 円

大規模改造（老朽）

$8,511,000 \times 2/7 + 8,511,000 \times 2/7 \times 1\% \approx 2,455,000$ 円

大規模改造（トイレ）

$3,307,000 \times 2/7 + 3,307,000 \times 2/7 \times 1\% \approx 953,000$ 円]

戸頭中学校

(特)地震補強

$74,061,000 \times 2/3 + 74,061,000 \times 2/3 \times 1\% \approx 49,867,000$ 円

[国補：地域活性化・公共投資臨時交付金 13,200,000 円]

[県補：合併特例交付金 45,650,000 円]

○ 目的

校舎の耐震補強工事实施設計及び体育館耐震補強工事を行い、耐震性の確保と建物の改修により教育環境の充実を図る。

○ 内容

(1) 委託料

委託名	内 容	工 期	委託料
永山中学校体育館耐震補強工事監理業務委託	耐震補強工事の工事監理業務	H21.8.8 ~ H22.3.25	3,570,000 円
戸頭中学校体育館耐震補強工事監理業務委託	耐震補強工事の工事監理業務	H21.8.8 ~ H22.3.25	2,205,000 円
永山中校舎耐震補強工事实施設計業務委託	耐震補強工事の実施設計業務	H21.10.20 ~ H22.3.19	4,882,500 円
取手東中校舎耐震補強工事实施設計業務委託	耐震補強工事の実施設計業務	H21.10.20 ~ H22.3.19	9,187,500 円
永山中学校体育館耐震補強工事实施設計業務委託 (繰越明許費)	耐震補強工事の実施設計業務	H20.11.8 ~ H21.7.10	<3,780,000 円>
戸頭中学校体育館耐震補強工事实施設計業務委託 (繰越明許費)	耐震補強工事の実施設計業務	H20.11.8 ~ H21.6.10	<3,969,000 円>

(2) 工事請負費

工 事 名	内 容	工 期	工事費
永山中学校体育館耐震補強工事	2階及び1階の一部の既存鉄骨架構を撤去し、新たに鉄骨架構を設ける工事等	H21.8.21 ~ H22.3.15	121,275,000 円
戸頭中学校体育館耐震補強工事	鉄骨ブレース8箇所・柱脚部補強14箇所・屋根ブレース48箇所・妻側鉄骨水平材補強8箇所の補強工事等	H21.9.1 ~ H22.3.15	61,341,000 円

○ 効果

校舎の耐震補強工事实施設計により、安全・安心な学校づくりのための準備が整った。永山中・戸頭中体育館耐震補強工事により、耐震性能が確保され生徒等が快適な学校生活を送れる教育環境の整備が図られた。

3 中学校費 4 学校給食費

[担当：学務給食課] P.368

2001 給食運営に要する経費 169,781,414 円 (169,542,401 円)

[その他 100,446,650 円 一財 69,334,764 円]

* 特財内訳

[諸収入：中学校給食代（自校分）100,446,650 円]

○ 目的

学校給食の安全と円滑な運営を図る。

○ 内容

(1) 臨時栄養士等賃金 3,791,150 円 (3 人)

(2) 委託料

項目	内容	金額
小荷物専用昇降機保守点検委託料	給食用エレベータ保守点検 (8 校)	903,210 円
換気設備清掃委託料	給食室用換気設備の清掃 (6 校)	882,000 円
給食排水槽清掃委託	給食室用排水槽の清掃 (6 校)	985,388 円
給食室病虫害防除委託料	給食室の病虫害の防除 (8 校)	266,700 円
学校給食調理業務民間委託料	調理業務を民間の専門業者へ委託した。(5 校：取手一中、取手二中、戸頭中、永山中、取手東中)	53,397,377 円

○ 効果

栄養のバランスのとれた内容豊かな給食の提供及び給食環境の整備、環境衛生面での充実が図れた。

[担当：学務給食課] P.370

2101 給食施設整備に要する経費 1,458,632 円 (1,915,270 円)

[その他 203,000 円 一財 1,255,632 円]

* 特財内訳

[諸収入：学校給食用牛乳供給事業補助金 203,000 円]

○ 目的

給食室内の衛生管理を徹底強化するために施設の充実を図る。

○ 内容

備品整備 ・牛乳保冷库購入 (取手二中) 609,000 円
・牛乳保冷库修繕 (取手一中) 394,380 円

○ 効果

給食室内の施設整備の充実及び環境衛生面での充実が図れた。

4 幼稚園費 1 幼稚園管理費

[担当：学務給食課] P.372

2001 幼稚園管理に要する経費 6,422,603 円 (6,575,765 円)

[その他 4,218,000円 一財 2,204,603円]

* 特財内訳

[使用料：市立幼稚園入園料 148,000円]

[使用料：市立幼稚園保育料 4,059,000円]

[使用料：市立幼稚園保育料（過年度分）11,000円]

○ 目的

市立幼稚園を運営することにより、幼児教育の振興を図る。

○ 内容

市立幼稚園の入園、施設管理等の運営全般に要する経費である。

保育料（月）5,500円 入園料 4,000円

年 度	4 歳児	5 歳児	合 計
H21	30 人	34 人	64 人
H20	28 人	31 人	59 人

○ 効果

市立幼稚園の適切な管理と運営により、質の高い幼児教育を提供することができた。

[担当：学務給食課] P.374

2101 幼稚園保健衛生に要する経費 640,133円(638,768円)

[その他 8,370円 一財 631,763円]

* 特財内訳

[負担金：日本スポーツ振興センター災害給付負担金 @135×62人=8,370円]

○ 目的

学校保健法に基づき、園児及び教職員の定期健康診断を実施することにより、健康保持を図る。

○ 内容

- ・ 幼稚園嘱託医・歯科医・薬剤師 3人
- ・ 園児・教職員健康診断委託 委託先：(社)取手市医師会

区分	尿	蟯虫
対象	全園児	全園児
H21	62人	62人
H20	57人	57人

○ 効果

定期検診を実施することにより、園児に対する健康管理や指導が徹底され健康保持が図れた。

4 幼稚園費 2 幼稚園振興費

[担当：学務給食課] P.374

2001 幼稚園就園奨励費補助関係経費 97,671,158円(88,064,935円)

[国・県 25,177,000円 一財 72,494,158円]

* 特財内訳

[国補：幼稚園就園奨励費補助金 補助対象経費 97,671,158×1/3以内≒25,177,000円]

○ 目的

取手市幼稚園就園奨励費補助金交付要綱に基づき、園児の保護者に対し補助金を交付することにより、幼児の就園を奨励し幼児教育の振興を図る。

○ 内容

区 分	満3歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合 計
市民税非課税世帯	5人	21人	35人	28人	89人
市民税所得非課税世帯	3人	11人	18人	17人	49人
所得割課税 34,500円以下	8人	30人	45人	41人	124人
所得割課税 183,000円以下	23人	239人	268人	307人	837人
合 計	39人	301人	366人	393人	1,099人

○ 効果

園児の保護者に対し、補助金を交付することにより幼児の就園奨励及び幼児教育の振興に寄与することができた。

[担当：学務給食課] P.374

2002 幼稚園児保育料補助関係経費 42,255,070円 (43,297,450円)

[一財 42,255,070円]

○ 目的

幼児教育の振興を図るため、保護者に対して保育料の一部を補助し、幼児教育に係る経済的負担を軽減する。

○ 内容

対象者：取手市在住で私立幼稚園に在園する満3・3・4・5歳児の保護者

区 分	満3歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合 計
月額2,500円	48人	411人	484人	523人	1,466人

補助額 42,185,000円

○ 効果

保護者の保育料に対する経済的負担を軽減し、幼児教育の振興に寄与することができた。

[担当：学務給食課] P.376

2003 幼稚園施設運営費補助関係経費 2,970,000円 (3,300,000円)

[一財 2,970,000円]

○ 目的

幼児教育環境の充実と、設置者及び保護者の経済的負担の軽減を図る。

○ 内容

幼稚園の施設を整備するにあたり、幼稚園の設置者に対して費用の一部を補助した。

1園につき 270,000円×11園

○ 効果

幼児教育の施設及び設備の充実が図られ、また幼稚園及び保護者の経済的負担軽減に寄与することができた。

[担当：学務給食課] P. 376

2004 幼稚園障害児保育補助関係経費 950,000 円 (840,000 円)

[一財 950,000 円]

○ 目的

障害児保育の振興を図る。

○ 内容

障害児を在園させている幼稚園の設置者に対して、補助金を交付した。

・障害児 1 人につき 年額 110,000 円 ・対象園児 9 人

○ 効果

幼稚園の設置者に対し補助金を交付することにより、障害児保育の振興に寄与することができた。

[担当：学務給食課] P. 376

2006 幼稚園預かり保育助成事業関係経費 592,687 円 (471,936 円)

[一財 592,687 円]

○ 目的

私立幼稚園における幼児教育の振興を奨励し、その充実及び向上を図る。

○ 内容

夏季休業日に預かり保育を実施した私立幼稚園の設置者に対して、補助金を交付した。 実施園 8 園 @750 円×1,584h×1/2≒594,268 円

○ 効果

私立幼稚園の設置者に補助金を交付することにより、幼児教育の振興に寄与することができた。

[担当：学務給食課] P. 376

2007 幼稚園共済掛金補助関係経費 175,905 円 (177,795 円)

[一財 175,905 円]

○ 目的

私立幼稚園の災害共済掛金を補助し、幼児の福祉増進を図る。

○ 内容

日本スポーツ振興センター災害共済掛金を納付している私立幼稚園に対して、掛金の 1/2 の額を補助する。 私立幼稚園 @135×1,303 人=175,905 円

○ 効果

私立幼稚園に補助することにより、幼児の福祉増進と幼児教育の振興に寄与することができた。

5 社会教育費 1 社会教育総務費

[担当：スポーツ生涯学習課] P. 380

2001 成人式に要する経費 2,050,000 円 (2,360,000 円)

[一財 2,050,000 円]

○ 目的

成人に達した若者の新たな門出を祝す。

○ 内容

平成 21 年度成人に達する市内公立各中学校の卒業生から実行委員候補者を中学校に推薦依頼、成人式の企画運営を行うために実行委員会を結成し、事業を委託した。

年 度	性別	対象者(人)	参加者(人)	出席率(%)
H21 (H22. 1. 10 実施)	男	554	392	70.8
	女	504	353	70.0
	計	1,058	745	70.4
H20 (H21. 1. 11 実施)	男	646	457	70.7
	女	568	401	70.6
	計	1,214	858	70.7

○ 効果

成人式実行委員会に式典の進行やアトラクション等の企画・運営を委託することで、熱心に意見交換を行い、工夫を凝らした式典が実施できた。さらに記念品の選定や記念冊子の編集作業を担当してもらうことでより良い冊子の作成ができた。

[担当：スポーツ生涯学習課] P. 380

2201 生涯学習推進に要する経費 2,128,019 円 (2,628,015 円)

[一財 2,128,019 円]

○ 目的

生涯学習に係る活動の場を提供することにより、市民の生涯学習への意欲を高めるとともに、各分野にわたる学習活動への参加を促進し、生涯学習の一層の振興を図ることを目的とする。

○ 内容

(1)生涯学習フェスティバル

生涯学習活動を実践している団体やサークルなどによる体験教室や活動発表などを通じて、幅広い世代において交流と学びの場を提供するため、藤代スポーツセンターを会場に「とりで生涯学習フェスティバル」をネットワークフェア2009と同時開催で実施した。

実施コーナー	実施内容	参加人数
ものづくり教室	身近なものを加工してものづくりに挑戦 牛乳パックのキャンディボックスとブーメランづくり	約 150 人
歌声喫茶 “灯”	なつかしい曲をギター伴奏にあわせ、スタッフと来場者が一緒に歌を歌うことを楽しむ	約 200 人
昔あそびコーナー	昔の遊び（お手玉・おはじき・びーだま・ベーゴマ・あやとりなど）体験	約 200 人
グラウンドゴルフ	年齢性別を問わず、いつでも、どこでも、誰でも出来るグラウンドゴルフの体験	約 150 人
ふじしろ野鳥と楽しむ会	バードウォッチング体験、写真・イラスト展示、野鳥のぬりえなどを体験	約 200 人

(2) 出前講座

市民が「知りたい・聞きたい・学びたい」内容を、人材登録されているリーダーバンク登録者及び市職員が講師となって地域へ出向き講座を実施した。

派遣分野	H21		H20	
	件数	延べ受講者数	件数	延べ受講者数
リーダーバンク編・登録指導者	17	501人	21	764人
行政編・職員等派遣	47	1,737人	69	2,560人

(3) とりで学遊プラザリーダーバンク

生涯学習に関する各種人材(指導者)の登録派遣制度

リーダーバンク登録者 269人(平成22年3月31日現在)

(4) 農業ふれあい体験事業

委託料 220,000円(取手市子ども地域活動促進事業実行委員会へ委託)

親子米づくり体験講座

市内全小学校の希望者を対象に、親子で田植え、稲刈りの体験学習を実施した。

事業名	実施日	場所	参加者
親子米づくり体験講座	5/9(田植え)	農業 ふれあい 公園	親子303人 (うち台東区民21人)
	7/26(自然観察会)		
	9/13(稲刈り)		

(5) 家庭教育学級

市立幼・小中学校の親を対象に、家庭での教育力の向上及び親同士のコミュニケーションを図る場として家庭教育学級を設置し、社会教育指導員の指導により各学級単位の活動及び全体学習会を実施した。 29学級 参加延べ人数1,339人

○ 効果

生涯学習フェスティバルでは、活動を実践している団体の体験教室に於いて幅広い世代に対して交流と学びの場を提供することができた。また、親子米づくり体験講座では、親子での自然体験の活動機会を提供し、学校外活動の充実を図ることができた。

出前講座では、行政に対する理解と市民の生涯学習意欲の向上に加え、市内の各種能力・知識等を持った人材の活用を推進できた。

家庭教育学級では、「子育てと仲間づくり」をテーマに、子ども達が心豊かにたくましく成長することを願って、読み聞かせ、食育、子育て講話、健康づくり、研修視察等様々な学習会を開催し、家庭での教育力の向上を図った。

[担当：文化芸術課] P. 380

2801 市民芸術活動の推進に要する経費 3,157,644円(3,437,307円)

[その他 1,500,000円 一財 1,657,644円]

* 特財内訳

[諸収入：オータムジャンボ宝くじ収益金市町村交付金 1,500,000円]

○ 目的

市民の文化活動及び芸術活動を援助するとともに、文化事業を推進し、市民文化の向上と発展に寄与する。

○ 内容

(1) 市主催事業の開催

事業名	開催日	内容	来場者数
第 38 回 文化祭 (取手地区)	10/31・ 11/1・3 (3 日間)	取手地区の文化祭を取手市文化連盟に委託。市民が日頃行っている文化活動を集約し、技芸・展示に分けて発表した。 会 場：取手市立市民会館・取手市立福祉会館 委託料：1,000,000 円	7,240 人
平成 21 年度 取手市藤代 文化祭	10/4～11/29 (2 か月間)	藤代地区の文化祭を取手市藤代文化協会に委託。作品展、体験型催事及び舞台発表を開催した。 会 場：藤代公民館 委託料：500,000 円	3,562 人 (参加者含む)
2009 取手美術 作家展	6/6～6/17 (12 日間)	身近な郷土作家による作品展を取手美術作家展に委託して開催した。33 名 54 点出品 オープニングイベント ギャラリーコンサート、ギャラリートーク他 市内小中学校ギャラリーツアーを 3 日間実施。 会 場：とりでアートギャラリー「きらり」 委託料：640,000 円	2,199 人
第 40 回 取手市 美術展	10/30～12/7 (33 日間)	第 1 部 洋画、彫刻、デザイン 79 点 第 2 部 日本画、写真、書、工芸 102 点 第 3 部 小中学生、特殊学級 1,163 点 会 場：とりでアートギャラリー「きらり」 報償費・需用費：369,744 円	4,578 人

(2) 市内の文化団体への補助金交付

団体名	補助金額	目的
取手市文化連盟	320,000 円	団体の運営補助
取手市藤代文化協会	240,000 円	団体の運営補助

○ 効果

文化事業は恒例事業であるが、主催者が内容を工夫し、来場者数は増加している。また、各文化団体への補助金は市民の文化活動の活性化に寄与している。

[担当：文化芸術課] P. 380

2901 市民会館・福祉会館管理運営に要する経費 82,025,328 円 (95,875,840 円)

[一財 82,025,328 円]

○ 目的

取手市の産業・経済・文化・教養の向上と市民の福祉増進及び住民生活の向上を図るため、市民会館及び福祉会館を設置している。

○ 内容

(1) 報酬・旅費

市民会館・福祉会館の次期(平成 22 年度～平成 25 年度)指定管理者を選定するため、指定管理者選定委員会を開催した。その選考委員を学識経験者等 2 名に委嘱した。

指定管理者選定委員報酬：12,600 円 (6,300 円×2 人)

費用弁償：4,000 円 (2,000 円×2 人)

(2) 需用費（修繕料） 602,700 円

修繕名	内容	工期	金額
取手市立福祉会館 小ホール室内機修繕	2 階小ホール空調設備室内機 の水漏れ修理	3/16～3/19	235,200 円
取手市立市民会館 大ホール照明設備修繕	大ホール照明用調光設備の 修繕	3/16～3/31	367,500 円

(3) 委託料

平成 18 年度から市民会館・福祉会館の管理運営に指定管理者制度を導入している。

指定管理者：（財）取手市文化事業団

指定管理委託料：80,071,000 円

年度	施設名	使用件数	入場者数	稼働率 (使用件数／使用可能日数)
H21	市民会館	157 件	67,745 人	54.1%
	福祉会館	8,166 件	163,580 人	88.3%
H20	市民会館	170 件	50,427 人	59.6%
	福祉会館	7,916 件	132,362 人	84.7%

(4) 使用料及び賃借料（照明機器リース料） 1,260,000 円

舞台用ピンスポットライトを 5 年間リース。

○ 効果

施設の適切な管理運営を行うことにより、文化活動の拠点として、市民の文化振興に寄与した。

[担当：文化芸術課] P.382

3001 東京芸術大学との交流に要する経費 4,117,857 円 (5,147,670 円)

[その他 4,005,000 円 一財 112,857 円]

* 特財内訳

[諸収入：オータムジャンボ宝くじ収益金市町村交付金 4,005,000 円]

○ 目的

取手市に東京芸術大学取手キャンパスがあるという地域性を活かし、市民と芸大との交流を深め、芸術的感性や知識を培い、文化・芸術の振興を推進する。

○ 内容

(1) 東京芸術大学卒業・修了作品展における取手市長賞

市長賞賞賜金：1,000,000 円 (500,000 円×2 人)

第 58 回東京芸術大学卒業・修了作品展において優秀作品 2 点(日本画、工芸)に市長賞を授与した。受賞作品は福祉会館ロビーと福祉交流センターに展示した。

種類	作品名	作者
日本画	苔梅津	楯 麻子
工芸 (鍛金)	UTSUWA Time to spare	本郷 真也

(2) 市内小中学校と芸大との文化交流

指導者謝礼：2,873,000 円 (東京芸術大学美術学部及び音楽学部学生)

芸大学生が、交流を希望した市立小中学校で美術又は音楽の指導を行った。

- ・美術 (13 校)：小学校の美術の授業で児童に絵画技法等を指導した。
- ・音楽 (8 校)：中学校の吹奏楽部活動で生徒に演奏技法を指導した。

(3) 東京芸術大学音楽学部ミニコンサート

出演者謝礼：132,000 円

開催日	会場	内容	出演者数	入場者数
10/3 (土)	戸頭公民館	ピアノ・声楽・バイオリン	5 人	150 人
12/19 (土)	福祉交流センター	マリンバ・ヴィブラホン	3 人	160 人

○ 効果

東京芸術大学との文化交流は、近隣市町村にはない特色ある貴重な事業である。身近に質の高い芸術に触れられるため、市民、児童生徒及び学校関係者に大変好評であり、文化・芸術の振興及び技術の向上が図れた。

[担当：文化芸術課] P.384

3301 アートのあるまちづくりの推進に要する経費 10,738,880 円 (17,640,133 円)

[その他 8,863,480 円 一財 1,875,400 円]

* 特財内訳

[諸収入：井野アーティストヴィレッジ利用料 4,749,480 円]

[諸収入：オータムジャンボ宝くじ収益金市町村交付金 4,114,000 円]

○ 目的

新たな視点に立った文化事業を実施し、取手市から全国へ、文化の発信を行う。東京芸大キャンパスが市内にあるという環境を活かして、芸大の知識、技術、手法などを活用した他市町村にはない、文化・芸術によるまちづくりの推進を図る。

(1) 壁画によるまちづくり

○ 内容

委託料：1,444,176 円 (壁画修復実行委員会)

平成 12 年度より、落書きや貼り紙の防止を主な目的として、地元小学生や、取手アートプロジェクト参加者、芸大学生などにより壁画制作を行ってきた。市民には大変好評であり、壁画が環境改善や防犯に大きな役割を果たしている。取手市はアートのあるまちづくりを目指していることもあり、平成 17 年度に芸大、市民、行政による壁画によるまちづくり実行委員会を立ち上げ、基本計画及び実施計画を策定し、平成 20 年度まで毎年一作品を制作した。平成 21 年度は、修復を必要とする初期の作品を中心に、修復と保護加工を行った。 ※参加延べ人数：114 人

・修復した壁画

壁画タイトル	場所	制作年
色いろトンネル	戸頭陸橋下	平成 13 年
Fantastic World、Sunshine21	関東鉄道高架下	平成 15 年
永遠に	藤代大橋下	平成 19 年

○ 効果

壁画により、落書きや不法ビラ等の犯罪を抑制し、安全で快適な市民生活を実現するとともに、美術と市民生活が一体化した個性豊かな美しい街並みが形成された。また、傷みのひどかった壁画の修復と保護加工を行うことにより、壁画を永く大切に残していくことができる。

(2) 取手アートプロジェクト 2009

○ 内容

補助金：3,600,000円（取手アートプロジェクト実行委員会）

取手アートプロジェクト（TAP）は、平成11年度より市民・東京芸術大学・取手市の三者が連携協力して、地域の特色を活かした芸術活動を行なっているプロジェクトである。

① オープンスタジオ

テーマ	TAPトラベル 産直とれたてアート
開催期間	10月17日～11月15日の土曜・日曜・祝日
来場者数	約9,000人
内容	・オープンスタジオ 取手市とその近隣在住作家のアトリエを公開 参加アトリエ51組、参加アーティスト144人 ・TAPトラベル 市内のアートスポットやアトリエを巡るバスツアー12種類17本を実施。TAPスタッフがツアーコンダクターとなり来場者を案内した。

② 関連事業

《こどもプログラム》

- ・いちねんせいのさくひんてん 概要

テーマ	のりものによって
開催期間	10月27日～11月15日 ※11月2日・9日を除く
会場	キンピアパーク取手
内容	市内小学校に通う1年生全員（約800人）による作品展。友好都市交流20周年記念事業として、中国・桂林市の小学1年生（約100人）にも同じテーマで絵を描いてもらい展示した。

- ・学校へのアーティスト派遣事業 開催校：8校
- ・オリジナルワークショップ 開催校：2校

《国際交流事業》

- ・海外のアート団体にTAPからスタッフとアーティストを派遣した。
（韓国・安養市，中国・北京市，フィリピン・サンティアゴシティ）

○ 効果

取手アートプロジェクトは全国公募による現代アート展と地域在住の作家たちによるオープンスタジオを隔年で開催している。平成21年度開催のオープンスタジオでは、市民が芸術作品だけでなくそれを制作する地域在住の作家に身近に触れることができた。こういった触れ合いは市民と作家双方の芸術への意識の高揚に寄与している。また、取手アートプロジェクトを支えるボランティアスタッフの自主的で個性的な企画運営は評価されることである。当事業はアートのまち、アーティストの集まるまちとして取手市に潤いをもたらしている。

(3) 井野アーティストヴィレッジ

○ 内容

芸大と市が連携し、長らく空き店舗となっていた井野団地ショッピングセンターにある一棟を UR 都市再生機構より借り受け、芸大卒業生や若手芸術家のための「共同アトリエ」として一定期間賃貸提供する。

- ・UR 都市再生機構から市が建物を借り、それを芸大が中心となって募集した若手芸術家にアトリエとして貸し出す
- ・芸大が7戸の施設整備費を負担
- ・7戸のうち1戸は芸大が管理のため利用し、市が家賃を負担
- ・1戸につき2名以上、利用期間2年（平成19年12月10日～平成22年3月31日）
- ・地域との交流及びオープンスタジオへの参加が条件
- ・賃借人数

スタジオ名	101（管理運営）	102	103	104	105	106	107
賃借人数	2人	5人	9人	9人	4人	5人	5人

○ 効果

30名を超えるアーティストが各アトリエにおいて創作活動を行っている。毎月第2土曜にはオープンスタジオを開催し、アトリエを公開した。空き店舗を利用した地域の活性化が図られ、芸術によるまちづくりの推進に寄与することができた。

[担当：文化芸術課] P.384

3701 アートギャラリーの管理運営に要する経費 6,406,541円（6,774,344円）

[その他 339,600円 一財 6,066,941円]

* 特財内訳

[使用料：アートギャラリー使用料 291,000円]

[使用料：市民ギャラリー使用料 48,600円]

○ 目的

郷土作家、市民及び行政が一体となり創り上げたギャラリーにおいて、芸術作品の発表の場として、さらには文化・芸術交流の場として幅広い活動を展開する。

○ 内容

(1) 市主催事業の開催

事業名	開催日	内容	入場者数
JOBAN アートライン ONLY ONE ポスター展	4/1~3/31	「ONLY ONE プロジェクト in 北千住」において制作したコンセプトポスター100枚と40枚の塗り絵ポスターを展示した。	272人
輝く茨城の先人 たちパネル展	4/29~5/10	江戸時代以降の茨城県ゆかりの先人41人と取手市ゆかりの先人6人について、その功績や生き方をパネルで紹介した。	388人
寺田弘弼展	5/15~5/31	戦地での悲惨な体験により受けた心の傷を胸に、生命の尊厳と環境汚染に対する憂いを鳥に託して終生描き続けた数々の大作。墨絵とは趣を別にした白と黒の独特の世界を確立した郷土の画家寺田弘弼の作品と、その遺志を継ぐ弟子たちの作品を紹介した。	1,128人
郷土玩具展	7/18~8/31	土や木、紙など身近な材料を用いて手作りで作られた、土人形、木工玩具、張り子人形など、全国各地の素朴で愛らしく温もりのある郷土玩具を展示した。	824人

県展入選・市展入賞作品展	12/18~1/6	県芸術祭に入選及び市展に入賞された市民の作品展	591 人
グラフィカ写真展	1/8~1/17	郷土茨城をテーマに追求してきた写真家集団グラフィカの写真展	241 人
小中学校児童生徒作品展	1/22~2/17	市内小中学生による絵画、書写、科学研究・発明工夫、統計グラフ(県展入選作品も含む)の優秀作品展	1,921 人

(2) アートギャラリー貸出実績

期間	展示名
6/23~6/29	寺田秀子作品展「微風・2」(有料)
7/1~7/3	パッチワークキルト・フェザースター作品展「HANA」(有料)
9/8~9/23	相馬野馬追展
9/26~10/7	利根川舟運地域づくり協議会絵画展
10/10~10/20	小中学生「平和ポスターコンテスト」作品展
12/11~12/14	MOA 美術館茨城県児童作品展
2/9~2/16	取手陶芸クラブ作陶展(有料)
2/20~2/28	県南書道連盟展(有料)
3/3~3/9	絵を描く仲間たち展(有料)
3/12~3/15	聖和会書道展(有料)

(3) 市民ギャラリーの管理

市民の発表の場として、取手駅東西連絡地下道及び藤代駅橋上自由通路にある市民ギャラリーの貸し出しを行なった。

・利用件数

ギャラリー名	H21 年度	H20 年度
取手駅市民ギャラリー	56 件	51 件
藤代駅市民ギャラリー	35 件	30 件

○ 効果

郷土作家や市民による作品等の発表及び鑑賞並びに文化の交流の場を市民に提供し、文化・芸術の振興に寄与できた。

[担当：スポーツ生涯学習課] P. 384

3801 放課後児童対策事業に要する経費 112,997,431 円(147,883,842 円)

[国・県 39,671,000 円 その他 30,859,562 円 一財 42,466,869 円]

* 特財内訳

[県補：放課後児童対策事業補助金

放課後子ども教室推進事業補助金 @13,787,971×2/3≒9,191,000 円

放課後児童健全育成事業補助金 @45,720,000×2/3≒30,480,000 円]

[負担金：放課後児童対策事業保護者負担金 30,493,500 円]

[諸収入：雇用保険料本人負担金 366,062 円]

○ 目的

市内の小学校に通う全児童を対象として、学校施設等を利用して、遊びや体験学習などで自主的に過ごせる場所を設け、子どもの健全育成を図る。

○ 内容

これまで実施していた子どもの居場所づくり事業と児童クラブ事業を一体化し、平成 20 年度から「放課後子どもクラブ」として市内全小学校 18 校で開設している。

放課後や夏休み等の長期休業中に、小学校 1 年生から小学校 6 年生を対象に、安全で安心な子どもの活動拠点を小学校に設け、児童の健全育成を図る児童クラブと一体化した形で、様々な体験活動を行うなど、総合的な放課後児童対策事業として実施した。

学習アドバイザーの活用や各種ボランティアとの交流など内容の充実に努めた。

(1)放課後子どもクラブ登録児童数（通常利用登録者）

平成 22 年 3 月 1 日現在（単位：人）

小学校名	1 学年	2 学年	3 学年	4 学年	5 学年	6 学年	合 計
取 手 小	49	29	24	22	12	0	136
白 山 小	28	18	22	11	7	12	98
小文間小	8	3	9	4	3	0	27
寺 原 小	33	28	22	16	6	4	109
永 山 小	28	19	15	12	4	0	78
井 野 小	19	28	17	14	4	2	84
白山西小	7	6	10	4	3	6	36
戸頭西小	19	23	19	24	8	2	95
吉 田 小	29	9	20	11	6	1	76
戸頭東小	36	25	16	16	6	2	101
稲 小	22	19	19	14	7	1	82
高 井 小	7	11	3	7	1	3	32
山 王 小	9	9	12	19	8	9	66
六 郷 小	21	11	16	20	8	6	82
藤 代 小	33	25	16	10	2	4	90
宮和田小	15	25	18	13	2	4	77
久 賀 小	16	23	14	7	5	0	65
桜が丘小	20	24	19	16	3	2	84
合 計	399	335	291	240	95	58	1,418

○ 効果

児童の健全育成のために貢献する事ができた。また、全学年・全児童を対象とした事で異学年間の交流も図ることができた。

5 社会教育費 2 公民館費

[担当：公民館] P. 388

0501 公民館事務に要する経費 50,070,721 円 (67,219,864 円)

[国・県 1,207,000 円 その他 2,389,259 円 一財 46,474,462 円]

* 特財内訳

[国補：地域活性化・経済危機対策臨時交付金 1,207,000 円]

[使用料及び手数料：公民館使用料 1,788,600 円]

[諸収入：コピー使用料 485,029 円]

[諸収入：電気使用状況モニター 10,500 円]

[諸収入：電話通話料 3,890 円]

[諸収入：ファクシミリ使用料 20 円]

[諸収入：賠償保険料還付金 55,335 円]

[諸収入：市民総合賠償保険金 45,885 円]

○ 目的

公民館施設の適切な管理運営と施設整備を行うことにより、市民の利用環境の充実を図る。

○ 内容

主な工事・委託等 ・戸頭公民館昇降機設置工事設計業務委託 1,207,500 円

○ 効果

戸頭公民館の昇降機設置工事を行うための設計委託を行うことにより、22 年度に昇降機設置工事が行われ、完成後は利用者の利便性・安全性が向上する。

[担当：公民館] P. 390

2101 公民館活動に要する経費 1,828,000 円 (2,034,080 円)

[一財 1,828,000 円]

○ 目的

公民館は、地域住民にとって最も身近な学習拠点として、教養の向上、生活文化の振興、社会福祉の増進等に寄与し、自主的な学習活動及び交流の場として重要な役割を担う。そのため、地域の特色を生かした事業を展開し、地域の振興を図る。

○ 内容

(1) 公民館各種事業

市内 14 公民館において、多様化する住民の学習ニーズ、高度化する学習内容に対応した活動の充実を図るため、それぞれの世代を対象にした講座、講演会及び子どもふれあいスクール事業などの公民館事業を展開した。

対象	事業名	期 間	回数	受講者数(人)	事業内容及び結果
青 少 年	ラベンダースティック講座	6 月	1	17	公民館の庭に咲くラベンダーでスティックと香り袋を作成する講座を開催した。
	夏休みキッズスクール	7 月	1	11	小学生を対象。健康調理実習と健康講座を藤代公民館で開催。
	和 太 鼓 教 室	7 月	2	10	盆踊り大会に備えて、和太鼓教室を開催した。
	戸頭子どもまつり	7 月	1	404	レクリエーションを通じて地域の子どもたちの交流を図った。
	平 和 映 画 会	7~8 月 3 館	5	131	総務課と共催。平和映画を鑑賞することにより、戦争の悲惨さ、平和の大切さを学んだ。
	サマースクール	7~8 月 6 館	13	316	子供クッキング、タイル絵、お話マラソン会、絵画、レザークラフト等の講座を実施した。

	子どもふれあい スクール事業他	7~3月	4	293	新春子どもの集い、世代間交流 事業ほか講座を開催した。
	クリスマス人形劇	12月	1	150	劇団どんぐりによるクリスマス 公演を開催した。
	たこあげ大会 たこ作り教室	1月	1	30	正月の風物詩であるたこあげ大 会とたこ作り教室を開催。
	昔の遊び	1~2月 2館	3	57	ベーゴマやあやとりなどの昔の 遊びを中心に、今の遊びや卓球 などを行った。
	抹茶の点て方	2月	1	15	公民館まつりの際、お茶席会場 で抹茶の点て方を体験した。
婦人	婦人学級	年間	各学級 ¹¹ ~ ¹²	1学級 20人~44人 8学級(249人)	出会いを大切に視野を広げ、楽 しく学習しながら心豊かな人間 性を高めた。
高齢者	高齢者学級	年間	各学級 ¹¹ ~ ¹⁴	1学級につき 22人~96人 3学級(164人)	敬愛される高齢者を目指して、 健康・趣味・奉仕活動等を積極的 に行い、物の見方や考え方、生 きがいを見い出した。
	藤代学園	年間	11	125	学習、趣味活動を通じて、社会 情勢への円滑な適応を図った。
	シルバー世代の 交通安全	9月	1	26	映像と歩行システムを使った体 験型の講座を開催。
成人	取手生活学校	4~3月	12	15	移動学習等を通じ、主体的に活 動した。
	着付け	6~12月 2館	4	23	ゆかたや、正月の着物の着付け を学習した。
	パソコンを使ったプリ ント講座	7月	1	18	パソコンを使って写真や画像を Tシャツやエコバックなどにプ リントした。
	手作りパン教室	9~10月 6館共催	4	80	簡単にできるパン教室を、取手 地区公民館6館で実施した。
	ふるさと講座	9~1月	7	217	郷土に関することの学習を通 し、郷土愛と交流を深めた。
	青春のポップス コンサート	10月	1	56	昔懐かしいポップスから演歌の 演奏会を楽しんだ。
	木の実のリース作り	11月	1	18	木の実を利用し、豪華な木の実 のリースを作った。
	俳画	11月	1	10	干支(虎)の年賀はがきを描き、 楽しんだ。
	電子申告講習会	11月	1	16	自宅から申告や納税ができる電 子申告・納税システム(e-Tax) について学習した。
	お父さんのつどい お母さんのつどい	11月	1	49	高須地区のお父さん、お母さん の研修視察を行い、交流した。
そば打ち	11~12月 4館	4	70	自分でそばを打つ楽しさと秋の 味覚を楽しんだ。	

	こんにゃく作り	12月	1	25	手作りでこんにゃくを作り、試食して楽しんだ。
	しめ飾り講座	12月 8館	8	237	伝統的な「しめ飾り」を手作り体験した。
	絵手紙	2月	1	30	絵手紙で気持ちを表現する楽しさを学んだ。
一般	親子で自然とう 遊ぼう	5~3月	3	56	親子で自然と触れ合いながら、野鳥や昆虫の探索を行った。
	さつき展	6月	1	70	地域住民によるさつきの展示で地域の親睦を深めた。
	ソフトボール大会	6~11月 3館	3	316	ソフトボール・ビーチボールバレーの振興と地域親善を目指し、互いに交流を深めた。
	ビーチボール バレー大会	6月 2館	2	92	
	親子ふれあい フェスティバル	7月	1	198	親子を対象に、流しそうめん大会や、すいかわり等を高須公民館で実施した。
	夏まつり 盆踊り大会	8月 4館	4	1,580	夏の風物詩の盆踊り、模擬店等で、地域の親睦を深める。
	運動会	9,10月 4館	4	1,248	小文間、六郷、山王は小学校と合同、相馬は単独で開催。
	ゲートボール 大会	10月 2館共催	1	50	健康増進と地域の親睦を目指し、交流を深めた。
	ペタンク大会	10月	1	70	スポーツ（ペタンク）を通じて、各世代間の交流を図った。
	菊花展	11月	1	35	地域住民による菊の展示で地域の親睦を深めた。
	クリスマス コンサート	12月	1	150	地域の音楽家による、みんなで楽しめるコンサートを開催。
	ファミリー ウォークラリー	2月	1	150	相馬南公民館まつりと同時開催。家族や仲間と地図を片手に歩くゲームを開催。
	公民館まつり	2~3月 12館	12	6,190	作品展示や催しもの等、公民館で活動する団体による発表と地域交流の場を提供した。

(2) 各公民館利用状況

公民館名	年度	開館日数(日)	利用件数(件)	延べ利用者数(人)
中央公民館	H21	343	福祉会館との複合施設のため独自の算出はなし	
	H20	347		
小文間公民館	H21	331	1,290	12,624
	H20	332	1,235	12,474
永山公民館	H21	331	1,908	24,761
	H20	332	1,691	23,016
寺原公民館	H21	331	2,053	30,073
	H20	332	2,059	30,884
井野公民館	H21	331	2,878	48,400
	H20	332	2,831	47,529

戸頭公民館	H21	331	2,920	42,322
	H20	332	2,858	40,145
白山公民館	H21	331	2,213	38,925
	H20	332	2,240	36,181
藤代公民館	H21	331	2,482	47,177
	H20	332	2,492	41,180
山王公民館	H21	331	581	6,073
	H20	332	586	6,131
六郷公民館	H21	331	1,173	15,431
	H20	332	1,048	15,076
相馬公民館	H21	331	1,112	14,256
	H20	332	1,165	14,520
相馬南公民館	H21	331	1,419	18,743
	H20	332	1,495	19,412
高須公民館	H21	331	533	6,778
	H20	332	362	4,712
久賀公民館	H21	331	965	12,729
	H20	332	958	12,311
計	H21		21,527	318,292
	H20		21,020	303,571

○ 効果

地域の環境により、学級講座等の事業内容をそれぞれ特色のあるもので充実を図ったことで、大切な地域の拠点である公民館で、まちづくりや人づくりを推進させることができた。

5 社会教育費 3 図書館費

[担当：図書館] P. 392

2001 図書館管理運営に要する経費 22,577,960 円 (23,334,232 円)

[国・県 2,000,000 円 一財 20,577,960 円]

* 特財内訳

[国補：地域活性化・経済危機対策臨時交付金 2,000,000 円]

○ 目的

市民の図書館として、安全で快適な環境を提供し、適切な施設の維持管理を図る。

○ 内容

施設の管理運営上、必要な維持管理を行った。取手図書館のエレベーターに対し、機械室機器、昇降路内、ピット内の耐震化工事を行った。

○ 効果

施設の維持、修繕等を行うことにより、快適な図書館環境の提供が図れた。

[担当：図書館] P. 394

2101 図書館活動に要する経費 43,376,882 円 (43,398,073 円)

[その他 229,244 円 一財 43,147,638 円]

* 特財内訳

[諸収入：コピー使用料 178,690 円]

[諸収入：雇用保険料本人負担分 44,924 円]

[諸収入：印刷機使用料 2,165 円]

[諸収入：賠償保険料還付金 3,465 円]

○ 目的

市民の多様化するニーズに応えるよう、読書環境の整備と奉仕活動の強化に努める。

○ 内容

(1) 主な事業

- ・子育て支援 ブックスタート事業（利用者 769組 769冊 665,050円）
 幼児・児童向け読み聞かせ（のべ48回開催 参加者447人）
- ・学校との連携 学校図書館への支援（司書教諭との合同会議及び研修2回）
 学校訪問お話し会（市内小学校18校 3・6年生対象 967人）
- ・図書館だより ライブラリープラス（6回発行）・ほんバナ（6回発行）
- ・図書館まつり 取手図書館（7/18～20 3,200人）
 ふじしろ図書館（4/18～19 3,400人）

・その他行事

(2) 登録者数

（単位：人）

年齢別 登録者数	0～ 6歳	7～ 12歳	13～ 15歳	16～ 18歳	19～ 22歳	23～ 29歳	30～ 39歳	40～ 49歳	50～ 59歳	60歳 ～	合計
H21	694	3,064	2,283	2,161	2,679	4,302	7,204	5,367	4,573	10,081	42,408
H20	676	3,191	2,398	2,427	3,019	4,490	7,796	5,724	4,960	9,506	44,187

(3) 利用状況

・入館者数・館別貸出者数・貸出冊数

館名	入館者数 （単位：人）		貸出者数 （単位：人）		貸出冊数 （単位：冊）	
	H21	H20	H21	H20	H21	H20
取手図書館	190,857	182,250	91,449	88,743	301,944	299,164
ふじしろ図書館	189,824	180,667	83,553	69,487	250,769	225,923
戸頭公民館図書室			42,782	41,966	129,965	132,059
小文間公民館図書室			314	251	660	580
寺原公民館図書室			3,551	2,985	8,166	6,991
永山公民館図書室			564	488	1,581	1,300
ゆうあいプラザ図書室			2,847	3,003	7,316	7,726
井野公民館			1,805	1,274	3,844	2,573
取手駅前窓口			4,323	3,523	7,954	6,588
山王公民館			109	61	151	102
六郷公民館			472	173	976	413
相馬南公民館			630	324	1,071	600
久賀公民館			0	22	0	44
合計	380,681	371,688	232,399	212,300	714,397	684,063

・予約（リクエスト）月別利用状況

月 別	予約（リクエスト）件数	
	H21	H20
4月	8,384	7,770
5月	8,839	8,567
6月	8,299	5,035
7月	9,502	8,925
8月	9,092	9,285
9月	8,920	8,409
10月	9,719	9,268
11月	9,048	8,570
12月	8,579	8,302
1月	9,822	8,257
2月	9,276	8,504
3月	9,514	8,243
合 計	108,994	99,135

○ 効果

図書館主催、ボランティアとの共催により、市民の読書活動、または図書館そのものに対する関心を高めるような行事を行った。取手図書館では開館30周年を記念し「図書館まつり」を開催した。子ども読書推進計画策定にむけ着手し、ブックスタート事業を、配布冊数を見直しながらも引き続き実施するなど、子どもの読書環境推進のための事業に力を入れた。

[担当：図書館] P. 396

2201 図書館資料購入に要する経費 31,450,808円（32,175,734円）

[その他 153,309円 一財 31,297,499円]

* 特財内訳

[寄附金：寄附金 50,000円]

[諸収入：図書弁償代 103,309円]

○ 目的

市民の幅広い図書館資料に対するニーズに応える。

○ 内容

図書館の収集方針に基づき、資料を整備し、市民の読書活動を支援できるよう努めた。

・館別蔵書数

館 名	図書（単位：冊） ¹⁾		雑誌（単位：種類）		AV（単位：件）	
	H21	H20	H21	H20	H21	H20
取手図書館	143,984	141,553				
ふじしろ図書館	108,711	101,790			3,963	3,827
戸頭公民館図書室	58,043	57,228				
小文間公民館図書室	2,181	2,216				
寺原公民館図書室	4,824	5,288				
永山公民館図書室	4,656	4,735				

ゆうあいプラザ図書室	11,615	11,989				
合 計	334,014	324,799	198	207	3,963	3,827

1)蔵書冊数には寄贈本を含む。

○ 効果

各館の特徴を活かした資料収集・整備に努めたことで、利用者サービスが拡大した。

5 社会教育費 4 文化財保護費

[担当：教育総務課] P.398

2001 文化財保護に要する経費 11,631,490 円 (11,539,790 円)

[その他 80 円 一財 11,631,410 円]

* 特財内訳

[諸収入：市史・郷土史郵送料本人負担分 80 円]

○ 目的

文化財は市民共有の財産であり、地域の歴史の歩みを後世に永く伝える貴重な資料である。そのため文化財保護法や県・市条例によって文化財保護が義務付けられている。市内の国・県・市指定文化財の保護・活用につとめ、未指定の文化財についても調査を進める。

○ 内容

(1) 指定文化財補助金交付 (11,544,900 円)

指定文化財等補助金交付要綱に基づき、指定文化財の日常管理や修理・整備に対して補助金を交付した。(単位:円)

指定	指定文化財の名称	日常管理補助金	防災設備保守点検補助金	その他
		定額	補助率 7/8 以内	補助率 1/2 以内
国	龍禅寺 三仏堂	9,000	60,000	166,900 [防災設備修繕(蓄電池等交換)]
県	本多作左衛門重次墳墓(本願寺)	9,000		
	大日山古墳(岡神社)	9,000		
	地藏ケヤキ(高源寺)	9,000		
	長禅寺 三世堂	9,000	30,000	
市	八坂神社 本殿・拝殿	9,000	50,000	
	東漸寺 山門・観音堂	9,000	35,000	10,996,000 [保存修理(山門復元)]
	白山神社 本殿	9,000	36,000	
	中妻貝塚(福永寺)	9,000		81,000 [維持管理(草刈)]
	阿弥陀如来座像(金仙寺)	9,000		

(2) 文化財保護強調週間に伴う特別公開

11月1日から7日の文化財保護強調週間に県・市指定文化財「旧取手宿本陣」と県指定文化財「長禅寺三世堂」の特別公開を実施した。

旧取手宿本陣（10月31日～11月9日）

公開日	内 容	参加人数	備 考
10/30～11/8	特別公開	703人	
11/1～3	掛け軸公開	460人	本陣・染野家に贈られた水戸藩主直筆掛け軸3点の特別公開
11/1（日）	講演会	115人	「徳川斉脩・斉昭・慶喜と取手宿本陣」 講師：センター職員
合 計		703人	

長禅寺三世堂（11月1日～11月3日）

公開日	内 容	参加人数	備 考
11/1～11/3	内部特別公開	493人	

(3) 文化財防火デー（1月26日）に伴う防火訓練

文化財愛護と保護の意識を高めるため、指定文化財の建造物所有者に協力してもらい、毎年総合防火訓練を実施している。

実施日	実施文化財	参加者数	協 力 者	備 考
1/22	旧取手宿本陣染野家住宅	50名	地元消防団 地元住民 文化財保護審議委員	取手消防署と共催

○ 効果

文化財の保存・管理について、補助金を交付することで、管理者の負担を軽減するとともに維持・修理を計画的に実施することができた。また、市民の文化財に対する理解と意識の高揚に寄与した。

[担当：教育総務課] P.398

2101 旧取手宿本陣管理運営に要する経費 8,939,024円（9,391,911円）

[その他 240,000円 一財 8,699,024円]

* 特財内訳

[諸収入：本陣駐車場使用料 240,000円]

○ 目的

県・市指定文化財「旧取手宿本陣」の保存・管理を行い、一般公開することで文化財への愛着や関心を高める。

○ 内容

(1) 一般公開

年度	公開日	日数	見学者	平均	内容
H21	週3日 (金・土・日)	156日	9,125人	58.5人	・修復工事のビデオを随時放送。 ・土間でパネル展を実施した。 ・希望する団体には職員が説明を行った。
H20	〃	155日	4,647人	30.0人	〃

(2) 管理・運営経費

- ・一般公開に関する経費：1,486,916円

内 訳	支 出 額
賃金（公開日の管理・清掃）	1,446,963円
消耗品費（パンフレット用紙等）	39,953円

- ・維持管理に関する経費：7,452,108円

内 訳	支 出 額
史跡指定地・駐車場賃借料	5,651,186円
日常管理委託料	438,900円
庭園維持管理委託料	735,000円
防災（設備点検委託、機械警備委託）	255,150円
火災保険料	70,737円
光熱水費・通信運搬費・下水道使用料	269,635円
修繕料（駐車場看板修理）	31,500円

○ 効果

旧取手宿本陣の公開は、市民の歴史や文化財に対する関心を高めている。また、見学者の約6割が市外からの訪問者であり、市の観光資源として活用されている。21年度は、取手アートプロジェクトや取手宿ひなまつりなど市内イベントに会場として貸し出し、より多くの見学者に対し文化財に触れる機会を作れた。

[担当：教育総務課] P.400

2401 埋蔵文化財調査・整理に要する経費 3,025,222円（4,193,456円）

[国・県 1,837,000円 その他 44,700円 一財 1,143,522円]

* 特財内訳

[国補：市内遺跡確認緊急調査費補助金

補助対象事業費 3,000,000×1/2以内=1,500,000円]

[県補：市内遺跡確認緊急調査費補助金

補助対象事業費 (3,000,000－国補 1,500,000) ×1/4以内×調整率90%
=337,000円]

[諸収入：郷土史売却代 44,700円]

○ 目的

取手市埋蔵文化財取扱い要領によって、土木工事や宅地開発等に伴う埋蔵文化財の確認調査や発掘調査に迅速に対応する。発掘調査によって貴重な埋蔵文化財を記録する。

○ 内容

(1) 市内遺跡確認・緊急調査の概要（国・県補助事業）

確認調査（試掘）や個人住宅の発掘調査については、国・県から補助金を受け、市が調査を実施した。（事業経費：3,020,077円）

遺跡名・事由・面積	期 間	人員数・経費	内 容
南中原遺跡(第1地点 ～第4地点) 宅地造成・計 3503 m ²	5/13～6/12	賃金 27,490 円 (作業員 6人) 委託料 261,744 円 (作業員 50.5人)	遺構・遺物なし
稲向原Ⅲ遺跡 宅地造成・1044 m ²	9/8	委託料 4,735 円 (作業員 1人) 使用料 73,500 円	遺構・遺物なし
新屋敷遺跡 共同住宅・375.53 m ²	9/28	職員対応	遺構・遺物なし
稲向原Ⅰ遺跡 専用住宅・197.14 m ²	12/8	職員対応	遺物・遺物なし
中妻貝塚 範囲確認・529.2 m ²	12/15～ H22.3/31	賃金 116,401 円 (作業員 20.5人) 委託料 490,770 円 (作業員 95人) 使用料 168,000 円	縄文時代貝塚 埋葬人骨・縄文土器片出 土
神明遺跡 保存目的・341 m ²	12/16～ H22.3/31	賃金 110,825 円 (作業員 21.5人) 委託料 665,553 円 (作業員 128人) 使用料 73,500 円	遺物包含層 縄文土器片・石器出土
市内遺跡整理	10/1～ H22.3/31	賃金 411,112 円 (作業員 90.5人) 委託料 313,818 円 (作業員 54.5人)	平成 21 年度に実施した 調査の出土品整理。

○ 効果

平成 21 年度は、6 遺跡 9 件の確認調査で、縄文時代貝塚から奈良・平安時代の集落跡を調査し、貝塚の貝層や縄文土器・勾玉など貴重な資料が多数出土した。これらの調査により、重要な市内遺跡が破壊されることを防ぐことができた。また貴重な資料が多数得られた。

[担当：教育総務課] P. 400

2501 埋蔵文化財センター活動に要する経費 787,604 円 (710,718 円)

[一財 787,604 円]

○ 目的

文化財保護施設として、貴重な発掘出土品や歴史資料を収納するとともに、その整理・研究成果を市民に紹介するため、企画展示・講演会・講座を開催し、市民の歴史に対する関心や、文化財保護行政に関する理解を深める。

○ 内容

(1) 年間来館者数

年 度	平成 21 年度	平成 20 年度
来館者数	6,233 人	4,601 人

(2) 展示活動

展示名	期間	入場者数 (1日平均)	経費	内 容
第 25 回企画展 「幕末・明治維 新期の取手」	21/2/16～ 4/19 開館 63 日 内 4/1 以降 は 19 日	2,553 人 (40.5 人) 内 4/1 以降 は 1,264 人 (66.5 人)	報償費、印刷 費は平成 20 年度予算で 対応(4/1 以 降は支出無 し)	幕末・明治維新期の取手の歴史を概観するとともに、この時期に活躍した取手ゆかりの人びとの業績を紹介した。 4/11 歴史講座「土方歳三 取手を通る - 慶応四年四月の取手 -」 参加者 133 名、講師：センター職員
第 26 回企画展 「年表にみる 取手と藤代の あゆみ」	7/22～9/27 開館 69 日	1,746 人 (25.3 人)	報償費 60,000 円 印刷費 325,500 円 (ポスター、解説 図録)	センターの開館 10 周年を記念して、旧石器時代から現代までの取手市の歴史を通史的に紹介した。 7/25 講演会「古代伝承と歴史の世界」 参加者 133 名、講師：志田諄一氏（茨城キリスト教大学名誉教授） 9/20 講演会「関東に古墳がつくられたころ」 参加者 161 名、講師：大塚初重氏（明治大学名誉教授）
第 27 回企画展 「取手の鉄道 交通」	2/22～4/18 開館 56 日 内 3/31 まで で 38 日	2,039 人 (36.4 人) 3/31 までで 1,396 人 (36.7 人)	報償費 20,000 円 印刷費 325,500 円 (ポスター、解説 図録)	常磐線や常総線など、鉄道交通の発達とともに歩んできた取手の歴史を紹介した。 3/27 「鉄道模型運転会」 参加者 128 名 3/28 講演会「鉄道とミステリー小説」 参加者 66 名、講師：小池滋氏（元東京女子大学教授）

○ 効果

平成 21 年度の来館者数は、18 年度に次ぐ来館者数であり、センターの存在と活動が着実に市民に浸透し理解されてきたといえる。こうした活動により、市民の歴史への関心が深まり、文化財を大切にしたい気持ちや文化財保護行政に対する理解を得ることができた。

6 保健体育費 1 保健体育総務費

[担当：スポーツ生涯学習課] P. 404

1001 体育指導委員に要する経費 1,497,510 円 (1,602,570 円)

[一財 1,497,510 円]

○ 目的

市民の体力づくりと地域スポーツ活動の振興及び生涯スポーツの振興を図る。

○ 内容

市民のスポーツ活動促進のための組織の育成や、各種大会への指導助言と協力及び自主企画によるニュースポーツの普及と拡大に努めた。

体育指導委員報酬 日額 6,300 円×延べ 175 人=1,102,500 円

○ 効果

体育指導委員の活動により、地域スポーツの振興が図られ、多くの市民の健康と体力づくりに寄与した。

[担当：スポーツ生涯学習課] P. 404

2001 スポーツ団体育成推進関係経費 9,349,000 円 (9,652,000 円)

[一財 9,349,000 円]

○ 目的

スポーツ団体を育成・支援することにより、市民全体の体力向上とスポーツの普及振興を図る。

○ 内容

団体名	団体数	会員数	活動内容
体育協会	29 部 214 団体	6,174 人	体協親睦会・講演会の開催、視察研修各種講習会の開催、機関紙の発行、市主催行事への協力及び参加、競技別大会の企画運営、指導者の育成
スポーツ少年団	12 連盟 40 単位団	指導者 353 人 団員 1,104 人	青少年のスポーツ指導、競技別大会、教室の企画運営、認定員養成講習会、取手ブロック近隣市町村交流会、市主催行事への協力及び参加、各種講習・研修会への参加

○ 効果

体育協会は、自主事業の充実により市民全体の体力向上とスポーツの普及振興に寄与することができた。

また、スポーツ少年団は、青少年のスポーツ指導はもちろんのこと認定員養成講習会や取手ブロック交流会等を継続して実施することにより、スポーツを通して地域における青少年の健全育成を図ることができた。

[担当：スポーツ生涯学習課] P. 406

2002 社会体育振興関係経費 738,678 円 (1,076,029 円)

[一財 738,678 円]

○ 目的

市民の健康・体力づくりとスポーツ振興を図る。

○ 内容

生涯スポーツを通じて、心身の健康を保持・増進できるよう、誰もが参加できる各種の大会や体験会を実施した。

(1) 各種大会等の開催

事業名	参加人数	場所
第14回 小学生ドッジボール大会	336人	取手グリーンスポーツセンター
第41回 市民釣り大会	62人	さくら湖（小掘地先）
第40回 市民ゴルフ大会	178人	利根パークゴルフ場
第6回 市民親善ソフトボール大会	307人	取手緑地運動公園
第18回 ソフトバレーボール大会	253人	取手グリーンスポーツセンター
第10回 グラウンドゴルフ大会	112人	取手緑地運動公園
体力測定	100人	取手緑地運動公園
第38回新春健康マラソン大会	2,351人	取手緑地運動公園
第17回ふれあいウォーキング	91人	小貝川ヘルスロードコース
第4回市民ペタンク大会	200人	北浦川緑地

○ 効果

各種大会を通じて小学生から高齢者まで幅広くスポーツの楽しさを広めるとともに、市民相互の交流が深められ、参加者の健康増進に寄与することができた。

[担当：スポーツ生涯学習課] P. 406

2003 スポーツ振興奨励関係経費 886,000円（944,000円）

[一財 886,000円]

○ 目的

社会体育関係団体を助成することにより、選手の育成と市民に対するスポーツ振興及び団体の育成を図る。また、身近なスポーツ・レクリエーション活動を支援する。

○ 内容

関東大会以上の大会に出場した者に対し、奨励金を支給することにより出場選手の負担の軽減と優秀選手の育成を図った。

奨励金交付対象 ・団体 14件 ・個人 29件

○ 効果

奨励金制度を活用することにより、選手の育成と市民におけるスポーツ振興及び団体の育成を図ることができた。

[担当：スポーツ生涯学習課] P. 406

2101 学校施設開放に要する経費 561,745円（580,065円）

[一財 561,745円]

○ 目的

小中学校の学校体育施設を開放することにより、スポーツ振興と健康増進を図る。

○ 内容

市民が行うスポーツレクリエーション、文化的活動を支援するため、学校体育施設の開放を実施した。

年度	利用団体数	延利用人数	開放学校数	開放施設数
H21	249 団体	373,464 人	26 校	58
H20	235 団体	365,109 人	25 校	58

○ 効果

市民の健康、体力増進と学校体育施設の有効利用を図ることができた。

6 保健体育費 2 体育施設費

[担当：スポーツ生涯学習課] P. 406

2001 取手グリーンスポーツセンター管理運営に要する経費 130,046,192 円
(128,220,096 円)

[その他 2,590,000 円 一財 127,456,192 円]

* 特財内訳

[繰入金：公共施設整備基金繰入金 2,590,000 円]

○ 目的

市民スポーツの拠点となるグリーンスポーツセンターを多くの方に利用してもらうため、適正な維持管理を行うことで市民の健康増進とスポーツ団体相互の交流を深める。

○ 内容

平成 18 年度より、指定管理者による管理を実施している。

・指定管理料 125,146,000 円

利用状況

(単位：人)

施設名	H21	H20	増減
室内プール	92,379	92,655	△276
遊水プール	15,190	16,854	△1,664
第一体育室	53,721	52,917	804
第二体育室	9,268	9,756	△488
トレーニング室	43,520	40,970	2,550
柔道場	11,872	10,922	950
剣道場	11,580	10,696	884
弓道場	10,089	10,236	△147
スポーツサウナ	198	233	△35
健康相談室	49	68	△19
スポーツ障害相談室	299	286	13
研修室	6,194	6,739	△545
会議室	854	936	△82
和室	809	601	208
その他	15,713	15,802	△89
合計	271,735	269,671	2,064

○ 効果

近年は中高年者の利用も増加傾向にあり、市民のスポーツ振興の拠点として、健康増進に寄与することができた。

[担当：スポーツ生涯学習課] P. 408

2201 藤代スポーツセンター管理運営に要する経費 36,609,775 円 (35,487,120 円)

[その他 6,880,960 円 一財 29,728,815 円]

* 特財内訳

[国補：地域活性化・経済危機臨時交付金 900,000 円]

[使用料：テニスコート使用料 1,211,600 円]

[使用料：野球場使用料 1,290,750 円]

[使用料：多目的グラウンド使用料 428,400 円]

[使用料：総合体育館使用料 2,999,000 円]

[諸収入：コピー使用料 51,210 円]

○ 目的

生涯スポーツの拠点として、藤代スポーツセンターの円滑な管理運営を行うことにより、市民の健康増進と利用者相互の交流及び利用者拡大を図る。

○ 内容

施設名	H21	H20	増減
アリーナ	29,745 人	29,729 人	16 人
レクリエーション室	3,996 人	3,094 人	902 人
多目的グラウンド	12,149 人	10,378 人	1,771 人
野球場	10,447 人	12,194 人	△1,747 人
藤スポ・テニスコート	9,932 人	9,845 人	87 人
久賀テニスコート	753 人	677 人	76 人
会議室	820 人	1,175 人	△355 人
合計	67,842 人	67,092 人	750 人

○ 効果

施設利用者も増加傾向にあり、市民の生涯スポーツの拠点として健康増進に寄与することができた。

[担当：スポーツ生涯学習課] P. 410

2301 藤代武道場管理運営に要する経費 4,806,390 円 (4,700,414 円)

[その他 1,603,100 円 一財 3,203,290 円]

* 特財内訳

[使用料：藤代武道場使用料 1,603,100 円]

○ 目的

藤代武道場の円滑な管理運営を行うことにより、市民の健康増進と利用者相互の交流及び社会体育の振興に寄与する。

○ 内容

施設名	H21	H20	増減
柔道場	11,924人	13,380人	△1,456人
剣道場	12,377人	14,257人	△1,880人
弓道場	1,768人	2,357人	△589人
師範室	654人	1,167人	△513人
合計	26,723人	31,161人	△4,438人

※師範室とは、模範となる技芸を教える方の控え室

○ 効果

年間を通じて、市民の健康増進と施設利用者相互の交流に寄与することができた。

6 保健体育費 3 学校給食センター費

[担当：学務給食課] P.414

2001 給食センター運営に要する経費 129,642,789円 (132,531,393円)

[その他 122,592,959円 一財 7,049,830円]

* 特財内訳

[諸収入：幼稚園給食代 3,181,027円]

[諸収入：小学校給食代（センター分）76,838,898円]

[諸収入：中学校給食代（センター分）42,573,034円]

○ 目的

学校給食の安全と円滑な運営を図る。

○ 内容

給食センターを運営するための経費で、給食臨時職員賃金、消耗品、燃料費、賄材料費、手数料（職員保菌検査、食材検査、細菌ふき取り検査）、及び負担金等である。

○ 効果

内容豊かな給食の提供、給食環境の充実で、支障なく運営することができた。

[担当：学務給食課] P.414

2101 給食センター施設整備に要する経費 25,697,320円 (37,274,845円)

[一財 25,697,320円]

○ 目的

給食センターの施設管理等の充実を図る。

○ 内容

安全な給食を提供するための維持管理経費である。

(1) 需用費

(単位：円)

項目	内容	金額
光熱水費	水道料、電気料、ガス代	7,088,797
修繕料	調理器具等修繕料	1,632,838

(2) 委託料

(単位：円)

項 目	内 容	金 額
給食運搬業務委託	2 台の配送車による各学校への給食運搬業務	12,266,100
電気保安業務委託	電気設備の安全管理	126,000
受水槽清掃委託	受水槽の清掃	105,000
真空冷却機点検委託	真空冷却機の点検	330,750
ガス空調機保守点検委託	ガス空調機保守点検	437,850
汚水・排水処理施設清掃点検委託	排水処理施設保守点検・浄化槽油脂の汲取り	2,053,800
ボイラー設備総合管理委託	ボイラーストレージタンク・ボイラー水の中和装置の点検整備・重油タンク清掃	774,900
冷凍・冷蔵設備保守点検委託	冷凍・冷蔵設備の点検	136,500
高窓・排気ダクト清掃委託	高窓・燃焼排気ダクトの清掃	215,250
警備委託	施設警備	176,400

○ 効果

給食の安全性がさらに高まり、小学校 6 校、中学校 2 校、幼稚園 1 園に予定どおりの給食を提供することができた。